

平成25年度(完成)

優良業者等表彰(事務所長表彰)

- 優良施工工事部門
- 安全施工工事部門
- 優良業務部門
- 優秀工事技術者部門
- 優秀業務技術者部門

平成26年 7月

沖縄総合事務局開発建設部

優良業者等表彰一覧

◆優良施工工事部門

| 工事件名 | 業者名 | 事務所等名 | 項 |
|-------------------------------------|------------------------------------|---------|-----|
| ● 平成25年度前兼久地区電線共同溝設置(その2)工事 | (株)三和土建 | 北部国道 | P 2 |
| ● 平成25年度新与那トンネル照明設備設置工事 | (資)ヤナギ電設工業 | 北部国道 | P 3 |
| ● 平成23年度豊見城トンネル(下り線)工事 | 飛鳥建設・仲程土建特定建設工事共同企業体 | 南部国道 | P 4 |
| ● 平成24年度糸満高架橋下部工(上りP5、P6-1)工事 | 金秀建設(株) | 南部国道 | P 5 |
| ● 平成25年度山川高架橋外1橋耐震補強工事 | ショーボンド建設(株) | 南部国道 | P 6 |
| ● 平成25年度明治橋防護柵設置工事 | 國幸興發(株) | 南部国道 | P 7 |
| ● 平成24年度糸満高架橋上部工(上りP13~P17)工事 | (株)安部日鋼工業・沖縄ピーシー(株) 特定建設工事共同企業体 | 南部国道 | P 8 |
| ● 平成25年度 園内改良(その3)工事 | (有)紫光園 | 記念公園 | P 9 |
| ● 海洋文化館展示(その1)工事 | (株)乃村工藝社 | 記念公園 | P10 |
| ● 首里城黄金御殿その他機械設備工事 | ヤシマ工業(株) | 記念公園 | P11 |
| ● 那覇港(浦添ふ頭地区)防波堤(浦添第一)消波ブロック工事(第4次) | (株)小波津組 | 那覇港湾・空港 | P12 |
| ● 中城湾港(本港地区)泊地(-11.0m)揚土工事(第2次) | 若築・池畠特定建設工事共同企業体 | 那覇港湾・空港 | P13 |
| ● 那覇空港エプロン新設工事 | 大林道路(株) | 那覇港湾・空港 | P14 |
| ● 石垣港(新港地区)防波堤(外)築造工事 | (株)南海土木 | 石垣港湾 | P15 |
| ● 平良港(漲水地区)岸壁(-7.5m)(改良)(耐震)ケーソン工事 | 座波建設(株) | 平良港湾 | P16 |
| ● 平良港(本港地区)防波堤(下崎西)改良工事(第2次) | (株)古波蔵組 | 平良港湾 | P17 |

◆安全施工工事部門

| 工事件名 | 業者名 | 事務所等名 | 項 |
|---------------------|---------------|-------|-----|
| ● 平成25年度与那覇地区道路舗装工事 | 鹿島道路(株) 沖縄営業所 | 南部国道 | P19 |
| ● 首里城黄金御殿その他機械設備工事 | ヤシマ工業(株) | 記念公園 | P20 |

◆優良業務部門

| 工事件名 | 業者名 | 事務所等名 | 項 |
|------------------------------------|---------------------------------|---------|-----|
| ● 平成25年度辺野喜ダム・漢那ダム貯水池水質保全設備計画検討業務 | (株)建設技術研究所・(一財)沖縄県環境科学センター設計共同体 | ダム統管 | P22 |
| ● 平成25年度億首ダム自然環境調査業務 | いであ(株)沖縄支社 | 北部ダム | P23 |
| ● 平成24年度北部国道道路許認可審査等業務 | (株)アークスタッフ | 北部国道 | P24 |
| ● 平成25年度恩納南BP6号橋橋梁詳細設計業務 | 大富建設コンサルタント・橋梁コンサルタント設計共同体 | 北部国道 | P25 |
| ● 平成24年度北部国道事務所改築関係工事監督支援(その3)業務 | パシフィックコンサルタンツ(株)沖縄支社 | 北部国道 | P26 |
| ● 平成25年度中山トンネル外水文観測及び地すべり調査業務 | 日本工営(株)沖縄事務所 | 南部国道 | P27 |
| ● 平成25年度南部国道事務所用地調査点検等技術業務 | (株)オゼック | 南部国道 | P28 |
| ● 平成25年度南部国道管内道路法面・土工構造物等点検(その1)業務 | (株)朝日建設コンサルタント | 南部国道 | P29 |
| ● 平成25年度 公園事務所関係資料整理業務 | (一社)沖縄しまたて協会 | 記念公園 | P30 |
| ● 中城湾港地形変化調査検討業務 | (株)エコー | 那覇港湾・空港 | P31 |
| ● 平良港(漲水地区)工事影響検討業務 | 三井共同建設コンサルタント(株) | 平良港湾 | P32 |

◆優秀工事技術者部門

| 工事件名 | 業者名 | 技術者名 | 事務所等名 | 項 |
|------------------------------------|------------|--------|---------|-----|
| ● 平成25年度北部国道管内道路情報表示設備設置工事 | パイオニア電設(株) | 安河内 晃次 | 北部 国道 | P34 |
| ● 平成25年度新与那トンネル照明設備設置工事 | (資)ヤナギ電設工業 | 比嘉 麟 | 北部 国道 | P34 |
| ● 平成24年度南部国道管内道路施設等修繕(その2)工事 | (有)国栄建設 | 宮城 利久 | 南部 国道 | P35 |
| ● 中城湾港土砂処分場二護岸外2件築造工事 | (株)太名嘉組 | 宮城 隆 | 那霸港湾・空港 | P35 |
| ● 平良港(漲水地区)岸壁(-7.5m)(改良)(耐震)ケーソン工事 | 座波建設(株) | 平良 聰 | 平良 港湾 | P36 |

◆優秀業務技術者部門

| 工事件名 | 業者名 | 技術者名 | 事務所等名 | 項 |
|-------------------------------|----------------------------------|-------|---------|-----|
| ● 平成25年度億首ダム自然環境調査業務 | いであ(株)沖縄支社 | 西田 弘之 | 北部 ダム | P38 |
| ● 平成25年度北部国道管内測量設計(その1)業務 | (株)国建 | 上原 剛 | 北部 国道 | P38 |
| ● 平成24年度北部国道道路許認可審査業務 | (株)アークスタッフ | 具志堅 潤 | 北部 国道 | P39 |
| ● 平成25年度恩納南 BP6号橋橋梁詳細設計業務 | 大富建設コンサルタント・橋梁 コンサルタント設計共同体 | 中島 雅人 | 北部 国道 | P39 |
| ● 平成25年度中山トンネル外水文観測及び地すべり調査業務 | 日本工営(株)沖縄事務所 | 米城 才文 | 南部 国道 | P40 |
| ● 平成25年度南部国道管内防災点検設計業務 | 日本工営(株)沖縄事務所 パシフィックコンサルタンツ(株) | 竹原 哲郎 | 南部 国道 | P40 |
| ● 那覇空港滑走路増設実施設計業務 | 沖縄支社 ポートコンサルタント(株) | 鈴木 信夫 | 那覇港湾・空港 | P41 |
| ● 那覇港(新港ふ頭地区)防波堤(新港第一)構造検討業務 | | 石田 誠 | 那覇港湾・空港 | P41 |

優良施工工事一覧

優 良 施 工 工 事 の 選 考 基 準

- 施工計画、品質、出来形管理等の施工技術が優秀で出来ばえも良く、他の模範となるもの
- 工事施工上の困難性(短期間の工期、施工条件、難易性、地元情勢)を克服し、工事の遂行に努力し、かつ、出来ばえの良好なもの
- 新しい施工技術を導入し、今後の施工技術の研究及び向上に貢献度が大きく、かつ、出来ばえも良好なもの

| 工 事 件 名 | 業 者 名 | 事務所等名 | 項 |
|-------------------------------------|------------------------------------|---------|-----|
| ● 平成25年度前兼久地区電線共同溝設置(その2)工事 | (株)三和土建 | 北 部 国 道 | P 2 |
| ● 平成25年度新与那トンネル照明設備設置工事 | (資)ヤナギ電設工業 | 北 部 国 道 | P 3 |
| ● 平成23年度豊見城トンネル(下り線)工事 | 飛鳥建設・仲程土建特定建設工事共同企業体 | 南 部 国 道 | P 4 |
| ● 平成24年度糸満高架橋下部工(上りP5、P6-1)工事 | 金秀建設(株) | 南 部 国 道 | P 5 |
| ● 平成25年度山川高架橋外1橋耐震補強工事 | ショーボンド建設(株) | 南 部 国 道 | P 6 |
| ● 平成25年度明治橋防護柵設置工事 | 國幸興發(株) | 南 部 国 道 | P 7 |
| ● 平成24年度糸満高架橋上部工(上りP13~P17)工事 | (株)安部日鋼工業・沖縄ビーシー(株) 特定建設工事共同企業体 | 南 部 国 道 | P 8 |
| ● 平成25年度 園内改良(その3)工事 | (有)紫光園 | 記 念 公 園 | P 9 |
| ● 海洋文化館展示(その1)工事 | (株)乃村工藝社 | 記 念 公 園 | P10 |
| ● 首里城黄金御殿その他機械設備工事 | ヤシマ工業(株) | 記 念 公 園 | P11 |
| ● 那覇港(浦添ふ頭地区)防波堤(浦添第一)消波ブロック工事(第4次) | (株)小波津組 | 那覇港湾・空港 | P12 |
| ● 中城湾港(本港地区)泊地(-11.0m)揚土工事(第2次) | 若築・池畠特定建設工事共同企業体 | 那覇港湾・空港 | P13 |
| ● 那覇空港エプロン新設工事 | 大林道路(株) | 那覇港湾・空港 | P14 |
| ● 石垣港(新港地区)防波堤(外)築造工事 | (株)南海土木 | 石 垣 港 湾 | P15 |
| ● 平良港(漲水地区)岸壁(-7.5m)(改良)(耐震)ケーソン工事 | 座波建設(株) | 平 良 港 湾 | P16 |
| ● 平良港(本港地区)防波堤(下崎西)改良工事(第2次) | (株)古波蔵組 | 平 良 港 湾 | P17 |

優良施工工事

件名 平成 25 年度前兼久地区電線共同溝設置(その 2)工事

会社名 (株) 三和土建



完成（工区起点から）



電線共同溝工・通信特殊部設置状況

工事説明

本工事は、国道 58 号線の恩納村富着地区において、施工延長約 430m の電線共同溝を設置する工事である。

本工区の他に上り線 3 工区、下り線 2 工区同様の工事が発注されており、6 工区同時期の施工であることから、工程に係る調整に苦慮した工事であった。

本体工事の作業工程としては一般的な手順である特殊部先行型を基本とし、他工区の規制と競合することの無いよう作業箇所を計画したが、急な対応ができるよう作業箇所を常に複数想定するなど柔軟性を持たせた。

また一方では、本工区は住居及び商用に供する地域であり、長い工事期間地域住民の方々には多くの負担が掛ることになるため、できるかぎり工事による負担を軽減するよう配慮が必要であった。

施工開始前の挨拶はもとより、電線類地中化事業の内容、作業の進捗状況、設置された施設の写真など、工事に関するお知らせチラシを定期的に、特にご不便をお掛けする作業の場合には臨時に投函、訪問配布した。

店舗出入口の施工時期、各住宅地の出入り方法や仮駐車スペースの確保など、工程調整や作業方法の調整も積極的に行った。

これらにより、工事に関してご理解ご協力を得られ、時には地域住民の方々に励ましの言葉を頂きながら、無事故無災害で完工することができた。

位置図



工事概要

- 事務所名／北部国道事務所
- 工事場所／国頭郡恩納村字富着地内
- 工事内容／仮設工 一式
 - 舗装版撤去工 一式
 - 開削土工 一式
 - 電線共同溝工 一式
 - 付帯設備工 一式
 - 舗装工 一式
 - 排水構造物工 一式
 - 縁石工 一式
 - 道路付属施設工 一式
 - 構造物撤去工 一式
- 工期／H25.4.13～H26.3.31
- 契約金額／¥117,875,218

優良施工工事

件名 平成25年度新与那トンネル照明設備設置工事

会社名 合資会社ヤナギ電設工業



トンネル照明(LED)の更新



照明分電盤の更新

工事説明

本工事は、新与那トンネルに設置しているトンネル照明器具及び照明分電盤等の老朽化に伴い、設備の更新工事を行なったものである。一般車両が使用している現道とゆうことで、歩行者及び通行者などにトンネル内照度不足等、迷惑のかからないように施工管理を行なうほか、通行車両の交通事故防止、照明器具等の撤去時に高所からの落下物、粉塵・飛散物による事故等も懸念されました。そこで、監督職員のみなさまと施工計画の詳細な打合せの他、撤去時におこる照度不足の対策等について、密な打合せを行いました。

施工中は、施工計画及び別途作成した照明切替え方策書を厳守して、仮設電源を設置し、常に照明を点灯させてトンネル内が照度不足による事故等が起きないように細心の注意を行うほか、高所作業車からの落下物防止、粉塵・飛散物対策を徹底して、1工程・1工程を確実にこなして施工を進めました。また、トンネル照明固定アンカーについても、施工後に、現地引き抜き試験などで確実な固定を確認して引き渡しを行い、工期は、発注者が見込んだ交通誘導員を12人工返す事が出来ました。

道路管理係や工事管理係との調整及び工事作業員・交通誘導員との緊密な連絡調整により、道路の運用に支障をきたすことなく無事故で工期内に工事の完成を行う事が出来ました。



工事概要

- 事務所名／北部国道事務所
- 工事場所／国頭村字与那地先
- 工事内容／道路照明設備工 一式
トンネル照明設備工 一式
- 工期／H25. 6. 27～H26. 1. 31
- 契約金額／¥50,095,500

優良施工工事

件名 平成23年度豊見城トンネル(下り線)工事

会社名 飛島建設・仲程土建 特定建設工事共同企業体



終点側坑口（完成）



トンネル施工状況

工事説明

本工事は、一般国道 506 号豊見城東道路の豊見城トンネル下り線を NATM 機械掘削により施工したものである。

丘陵地の軟岩(島尻泥岩)～未固結地山において、供用中の上り線に隣接して小土被りのトンネルを掘削することから、地表面や近接する構造物、上り線の管理施設、道路交通などへ影響させない様に配慮した施工が要求された。

そこで、掘削機械を油圧切削機に加えてリップ付バックホウを採用し、支保工機械にはエレクタ機能付き吹付けシステム機を採用して、掘削効率を向上させて掘削直後から早期に支保工設置して地山のゆるみ発生を防止して、トンネルや地表面の変形を抑えることができた。

特にトンネルが交差する医療機関のライフラインとなる貯水関連施設に対しては、先行施工された上り線トンネル施工実績から得られた情報を基に予測解析を行い、有効な対策工を検討、実施し、施工中は貯水関連施設を24時間連続動態観測システムにより監視し、管理基準値以内の変位挙動でトンネル掘削を完了させ、施設の機能を損なうことなく工事を施工できた。

また、市街地の一般道を走行してトンネル掘削残土($V=$ 約 $41,000m^3$)をダンプ運搬することから、GPS 運行管理システムとアイドリングストップ装置を全車両に装備して安全運行を確保した。

これらの取り組みで工事を無事故無災害で完成することができた。

位置図



工事概要

- 事務所名／南部国道事務所
- 工事場所／沖縄県豊見城市上田地内
- 工事内容／トンネル延長 L=726.5m

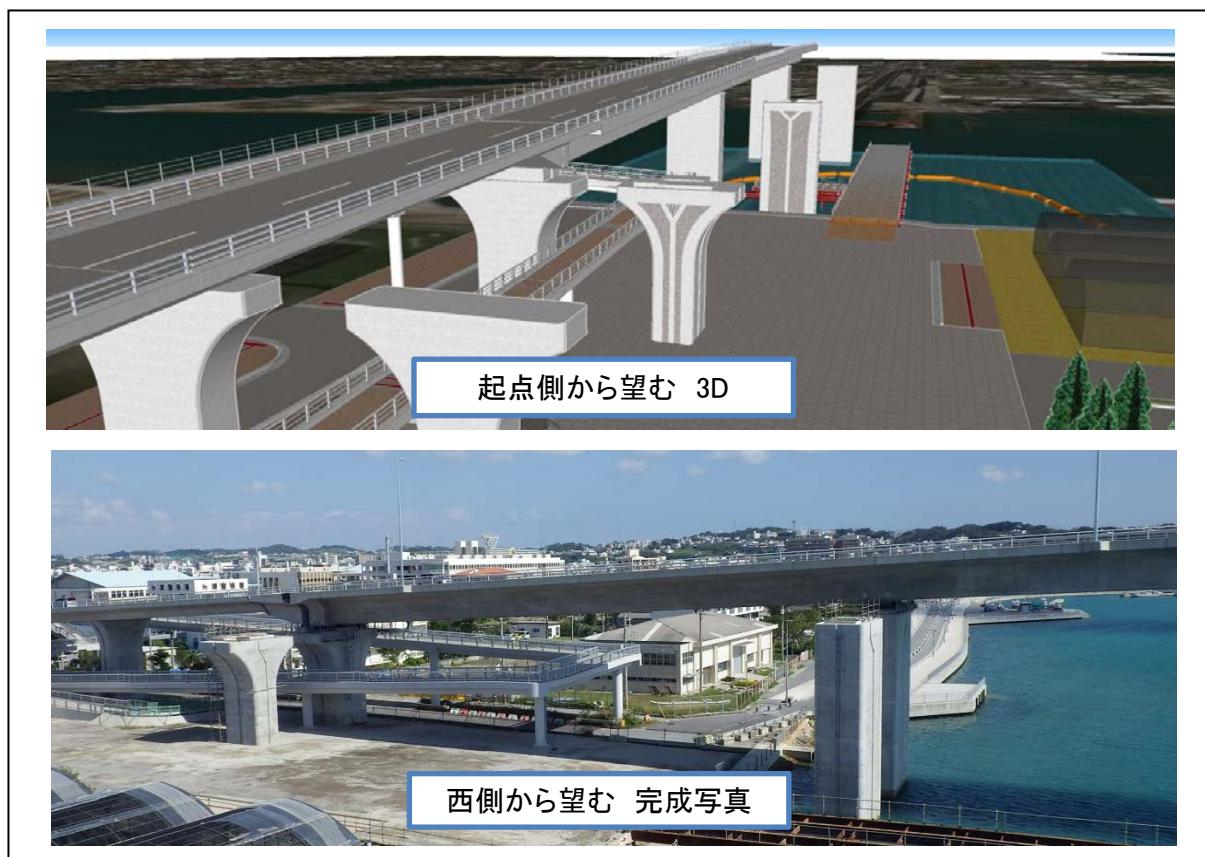
| | |
|--------------|-------------------------|
| 掘削断面積 A= | 89.7～93.8m ² |
| 掘削・支保工 | 一式 |
| 覆工コンクリート・防水工 | 一式 |
| インバート工 | 一式 |
| 坑内付帯工 | 一式 |
| 坑門工 | 一式 |
| 仮設工 | 一式 |
| 道路土工 | 一式 |

- 工期／H23.7.2～H25.5.17
- 契約金額／¥2,121,000,000

優良施工工事

件名 平成24年度糸満高架橋下部工(上りP5,P6-1)工事

会社名 金秀建設株



工事説明

本工事は、糸満道路の一環として国道331号の渋滞緩和、那覇空港へのアクセス向上を目的とし、糸満市西崎地内にRC橋脚下部工2基を施工するものである。

海上部が供用道路と近接、陸上部が歩道橋と海ぶどう施設に近接している施工条件にあり、安全面では通行者車や歩行者との第三者災害が懸念された。さらに、作業構台の撤去や既設橋脚部の矢板引抜き作業が追加になったため、適切な工程管理を実施し工程を短縮する必要があった。

安全面は、近接施工対策として「クレーンへのカメラ搭載」、「歩道橋接触防止用バー」などの工夫を行い事故防止に努めた。また本社からの現場支援として、「経営層によるパトロール」「下請業者によるパトロール」や本社安全推進部や営業部門参加の「施工検討会」を実施し、1年以上の工期を無事故・無災害で完成させた。

工程は、CCPM(クリティカル・チェーン・プロジェクト・マネジメント)工程表の手法を利用し発注者や関係機関、協力業者との調整を綿密に行なった上で、工期を延長することなく、余裕をもって納めることができた。

また、CIM導入に向けて、工事概要書に3Dソフトを取り入れて作成し、工事説明に使用したり、躯体の鉄筋過密箇所の検討などに取り組んだ。



工事概要

- 事務所名／南部国道事務所
- 工事場所／糸満市西崎地内
- 工事内容／道路土工 一式
 - RC橋脚工 一式
 - 護岸工 一式
 - 仮設工 一式
 - 磁気探査工 一式
- 工期／H24.10.10～H.25.10.31
- 契約金額／¥ 331, 275, 000-

優良施工工事

件名 平成 25 年度山川高架橋外 1 橋耐震補強工事

会社名 ショーボンド建設(株)



落橋防止装置工(制震ダンパー)



炭素繊維シート巻立て工

工事説明

本工事は、国道 506 号の山川高架橋および喜屋武高架橋において、地震災害発生時の緊急避難路の確保や橋梁の倒壊や落橋による二次災害の防止を目的とし、安全で円滑な交通を確保するために耐震補強を行うものである。

本工事で施工する橋梁の下には県道および町道が近接しており、歩行者や一般車両の安全な通行の確保に細心の配慮が求められた。

橋脚の補強において、炭素繊維シート巻立てにて、最大3層の貼り付け作業があるが、貼り付けに必要な含浸材を均一に塗布できるよう、層別に含浸材の色を変えるという工夫を加えることにより、塗布ムラが少なく出来栄えの良い施工を行った。

落橋防止装置のブラケット取り付けは狭隘部での施工となつたが、施工の工夫として、ブラケット受け架台を設置して架台の上にブラケットを転がして運搬することで円滑に施工を行った。

周辺環境対策として落橋防止装置工でアンカーキヤップ遊間樹脂注入を行うため、橋脚の一部をウォータージェット工法によりコンクリートはつりを行つたが、民家等が近くにあるため騒音対策が必要であった。そのため、足場の回りを防音シートで囲み騒音低減を図つた。

現場職員と全ての作業員が一体となって常に安全を意識して施工に取り組むことにより、所定の工期内に無事故・無災害で竣工することができました。

位置図



工事概要

- 事務所名／南部国道事務所
- 工事場所／沖縄県島尻郡南風原町管内
- 工事内容／

| | |
|--------|----|
| 橋梁付属物工 | 一式 |
| 橋脚巻立て工 | 一式 |
| 現場塗装工 | 一式 |
| 構造物撤去工 | 一式 |
- 工期／H25.5.24～H25.12.27
- 契約金額／¥ 125,055,000

優良施工工事

件名 平成 25 年度明治橋防護柵設置工事

会社名 國幸興發(株)



工事説明

本工事は、国道58号那覇市旭町～那覇市奥武山町地内に架かる明治橋歩道部において、より安心・安全な歩道空間を確保するための防護柵(高欄)を設置する工事である。

当該施工箇所は、県内でも交通量の多い主要幹線道路(70,000 台／日)となっており、近隣には奥式山公園や競技場等がある等、NAHA マラソンを始め産業まつりなど多彩な行事が行われている地域である。

その様な地域特性から、交通規制を伴う昼夜間工事により、工期短縮を図ると同時に、道路利用者への円滑な交通サービスの確保が求められた。

その対応として、工事の周知を図る為、地域へのビラ配布やFMラジオ放送を活用した広報活動を行った。

沖縄の玄関口でもあり、モニュメント的存在の明治橋の景観にも配慮し高欄の出来栄え、出来形に細心の注意を払った。明治橋本線のみならず、隣接する交差点と連携した交通安全対策を図る事によって、通行車両の視認性の明確化を向上し明治橋利用者への安全に配慮した。

さらに、本工事箇所はNAHAマラソンのスタート地点であり、大会開催への配慮が課題であった。工程上防護柵連続基礎の開口部を最小限に抑える対応を行った結果、大型イベントへ影響が生じる事なく、無事故・無災害で工事を完了する事ができた。

位 置 図



工事概要

- 事務所名／南部国道事務所
- 工事場所／沖縄県那覇市旭町
～那覇市奥武山町地内
- 工事内容／舗装工 一式
防護柵工 一式
構造物撤去工 一式
- 工期／H25.8.10～H25.12.10
- 契約金額／¥41,947,500-

優良施工工事

件名 平成24年度糸満高架橋上部工(上りP13～P17)工事

会社名 (株)安部日鋼工業・沖縄ピーシー(株)特定建設工事協同企業体



完 成

糸満市役所方面より望む

工事説明

本工事は、一般国道331号糸満道路事業の一環として、糸満市糸満地内に、固定式支保工にて4径間連続PC箱桁構造を建設する、コンクリート橋上部工工事である。

施工ヤードが既設本線橋及びランプ橋に挟まれた狭小空間であったため、架設支保工や揚重機械の配置等に工夫が必要であった。また、工事箇所は市街地区域にあり、近くには学校・市役所等公共施設が多数存在し、第三者に積極的な配慮が必要な環境であった。

本工事での狭小空間に対しては、4径間連続PC箱桁橋(L=175.5m)を3分割施工することにより、揚重機械の配置スペースを確保した。3分割施工とした新旧コンクリートの材齢差による温度ひび割れの発生懸念に対しては、FEM温度応力解析を行い、補強筋を追加配置した。また、外部拘束によるひび割れを防止するため、水和熱抑制型の膨張材を添加した。

さらに、ランプ橋が近接している箇所での架設支保工組立・解体作業では、『支保工の一括横取り』により安全を確保し、交差点上での支保工部は『板張り防護による完全防護』を実施するなど安全施工に努めた。

周辺地域への配慮として、糸満の行事に合わせた道路清掃の実施や、『糸満高架橋新聞』を発行するなど、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。また、次世代を担う工業高校の学生 100 名に対する現場見学会を開催し、公共事業が地域発展を担う重要性の理解に貢献した。

これらの対応により、作業空間と安全施工を確保し、施工環境を整えたことで出来形、品質ともに良い結果を得ることができ、無事故無災害で竣工することができた。

位置図



工事概要

- 事務所名／南部国道事務所
- 工事場所／沖縄県糸満市糸満地内
- 工事内容／

| | |
|---------|----|
| PC箱桁橋工 | 一式 |
| 橋梁付属物工 | 一式 |
| コンクリート橋 | |
| 足場等設置工 | 一式 |
- 工期／H24.11.17～H25.12.26
- 契約金額／¥469,035,000

優良施工工事

件名 平成25年度 園内改良(その3)工事

会社名 有限会社 紫光園



起点側より



眺望広場より

工事説明

本工事は、国営沖縄記念公園 海洋博覧会地区内における御成婚の森前(沖縄美ら海水族館～エメラルドビーチ間)既設園路拡幅ならびに、雨水排水設備等(延長 215m)の再整備を行う工事である。施工箇所は沖縄美ら海水族館、エメラルドゲート駐車場並びエメラルドビーチに近接しており、来園者への安全確保が求められた。

施工においては、雨水幹線既設管全線撤去の追加による掘削上部作業(側溝等)の停滞、園路拡幅下の不安定地盤対策(巨石空石積)のほか、当工区に隣接する2件の別途発注工事もあり、工区内スペース共用等、複雑な工程管理が要求される工事であった。

このような施工条件のもと、規制前、通行止め時、イベント開催時における安全対策について公園関係者との連絡調整を密に行った。

また、工程管理については、管材製造工程をもとにネットワーク工程表ならびに配管予定範囲図を作成し工事関係者へ配布することにより、作業進捗管理、地上部施工可能範囲の確認、資機材の手配、他工事との調整など、煩雑な工程調整が軽減された。

不安定地盤については、比較検討できるよう複数の工法を提案し、安全性、工程、施工金額、景観の観点から押え盛土にて施工を行った。

以上の対策ならびに工事関係者、作業員皆様の協力により苦情も無く、無事故で工期内完成することができた。

位置図



工事概要

- 事務所名／国営沖縄記念公園事務所
- 工事場所／海洋博覧会地区(本部町)
- 工事内容／敷地造成工 一式
 - 擁壁工 一式
 - 構造物撤去工 一式
 - 植栽工 一式
 - 雨水排水設備工 一式
 - 園路広場整備工 一式
 - 修景施設整備工 一式
 - 管理施設整備工 一式
 - 電気設備工 一式
- 工期／H25.9.13～H26.3.31
- 契約金額／¥74,382,000

優良施工工事

件名 海洋文化館展示(その 1)工事

会社名 株式会社 乃村工藝社



工事説明

本工事は、海洋博覧会開催当時に開館した海洋文化館の二回目の大改装であり、一連の工事のうち、主にグラフィックの製作・造形物の製作・展示品の陳列を行った工事である。

グラフィックの製作にあたっては、全国に点在している外部有識者とインターネット上に仮想の会議室を設け、必要な情報を引き出す糧とした。さらに計画的に個別打ち合わせ・全体打ち合わせを行い、手戻りなく作業を進めた。また、グラフィックに必要な写真の内約 140 点は海外に版権管理者がおり、言葉の壁・時の壁を乗り越えて価格交渉の上、版権処理を行なった。

造形物の製作においては、詳細な時代考証は当然の事、バヌアツのキッチンの復元にあたっては、そのキッチンを使っているであろう家族の家族構成や村での地位・季節までを設定し、より現実感のある実物大のジオラマ造形とした。

陳列作業では多くの実物展示を行ったが、中でも大型のカヌー4 艇の陳列は非常に難しく、事前にカヌー本体の構造的調査・形状的調査を詳細に行い、不定形な舟底の形に合った特殊な台を製作し、堅牢的・安定的な陳列を実現した。

また、1970 年代に収集した展示物の多くは経年劣化による損傷が激しく、中には構造的に展示困難な展示物も散見された。これらの展示物を専門家からの指導を仰ぎながら一点づつ丁寧に修復し、美觀からも構造からも展示に耐えうる状態とすることことができた。



工事概要

- 事務所名／国営沖縄記念公園事務所
- 工事場所／国営沖縄記念公園 海洋博覧会地区
- 工事内容／グラフィック工事 一式
 - 造形工事 一式
 - 演示工事 一式
- 工期／H24 年.9 月.29 日～平成 25 年 9 月 30 日
- 契約金額／¥34,545,000-

優良施工工事

件名 首里城黄金御殿その他機械設備工事

会社名 ヤシマ工業(株)



建物外観(位置図の右面より)



屋外機置場

工事説明

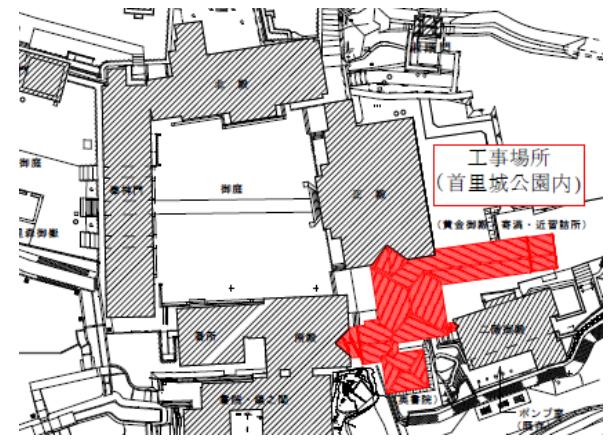
本工事は、首里城地区における黄金御殿・寄満・近習詰所、奥書院の復元工事に係る空気調和設備の新設工事及び給排水衛生設備の新設・改修工事を行う。また、黄金御殿の内部にエレベータ設備の新設工事を行うものである。

建物周辺の埋設配管工事では、遺構や電気埋設配管の影響、新築建物下部のスリーブ内を敷設することから、配管の埋設深さの確保や位置決定に苦慮した。また、切回し配管工事の中には開園区域へ影響する配管工事があることや本工事の他に後続工事があることから、本工事での工期短縮に留意する必要があった。

工期短縮を図るために、管材は工場加工によるプレハブ加工管とし、現場では配管組立のみの作業とした。現場調整を極力減らすために、試掘調査や既設管接続部分、遺構位置の測量を行い精度の良いプレハブ加工管割付図を作成したことで、現場での作業がスムーズに進んだ。

試掘調査を行ったことで、遺構に支障を来すとともに既設管へ接続出来た。また既設管接続部分の工場製作期間中に、先に敷設した新設配管区間の水圧試験を先行し、新管継手の水漏れ有無確認を行った。そのことで既設管接続作業時での水漏れ確認が効率よく行うことが出来た。

位置図



工事概要

- 事務所名／国営沖縄記念公園事務所
- 工事場所／首里城地区(那覇市内)
- 工事内容／

| | |
|----------|----|
| 空気調和設備 | 一式 |
| 換気設備 | 一式 |
| 自動制御設備 | 一式 |
| 衛生器具設備 | 一式 |
| 給排水設備 | 一式 |
| 消火設備 | 一式 |
| エレベーター設備 | 一式 |
| 撤去工事 | 一式 |
- 工期／H23.11.10～H25.12.27
- 契約金額／¥120,645,000

優良施工工事

件名 那覇港(浦添ふ頭地区)防波堤(浦添第一)消波ブロック工事(第4次)

会社名 (株)小波津組



工事説明

本工事は、那覇港(浦添ふ頭地区)防波堤(浦添第一)の消波工に使用する消波ブロックの運搬・仮置及び製作を施工するものである。

本工事ヤードではブロック製作工事が3件及び別途工事によるブロック積込運搬が同時に行われ、そのため作業ヤードが狭隘となり大型トラック、大型クレーンが輻輳することから、ヤード使用計画及び安全管理が重要な課題であった。

これより、関係する工事請負者で連絡協議会を設置し、安全で円滑な施工を可能とした。また、ブロックの重量が100tの大型であることから、仮置時のブロック破損を防止するため、鋼芯でしなり柔らかさのあるワイヤー(ケーブルレイドIWRC6型)を使用し、更にワイヤーを養生・被覆するなどの工夫をした。

また、夏場の暑い時期の施工なので、コンクリートミキサー車を遮光ネットで覆い併せてミキサー車のドラムの部分に散水しコンクリートの温度上昇を抑制した。暑中コンクリート対策と上記の仮置時に使用するワイヤーの創意工夫により高品質で出来映えのよい消波ブロックを製作することができた。

以上、安全及び品質確保について積極的に実施し、無事故で完了することができた。また、小学生の職場体験学習を実施し、消波ブロックの役割やサンゴの着生等環境にも優しいブロックであることを理解してもらった。

位置図



工事概要

- 事務所名／那覇港湾・空港整備事務所
- 工事場所／那覇市港町1丁目、
- 工事内容／消波工 一式
- 工期／H25.6.22～ H25.10.31 一式
- 契約金額／¥ 81,620.805-

優良施工工事

件名 中城湾港(新港地区)泊地(-11.0m)揚土工事(第2次)

会社名 若築・池畠特定建設工事共同企業体



工事説明

本工事は、中城湾港(新港地区)国際物流ターミナル整備事業の一環として整備する泊地(-11.0m)で発生する浚渫土砂を泡瀬地区の土砂処分場に揚土する工事である。

本工事の施工範囲は、希少生物が生息する区域に隣接し、また、近傍でモズク養殖が行われており、揚土作業中に海上汚濁防止対策を強く求められる工事であった。

揚土する土砂は、沖縄特有のサンゴ礫を多く含み、空気圧送船および排砂管の損傷が激しいことが予想され、空気圧送船や排砂管に破損が生じると工事が中断し、海上へ濁りを発生させる懼れがあった。そのため工事を行うにあたり、空気圧送船や排砂管の管理を綿密に行い、メンテナンスを適切に実施することで工事の遅延および海上への濁りの発生を防止した。

また、本工事は狭隘な海域で多くの工事と輻輳するため、各工事と日々綿密に調整を行いながら工事を実施した。

日々の管理を確実に行い、他工事と綿密な調整を実施し、確実な施工を行うことで無事故無災害で作業を完了させた。

位置図



工事概要

- 事務所名／那覇港湾・空港整備事務所
- 工事場所／沖縄市泡瀬地先
- 工事内容／土捨工 一式
- 工期／H25.6.12～H26.3.31
- 契約金額／¥837,690,000-

優良施工工事

件名 那覇空港エプロン新設工事

会社名 大林道路(株)



工事説明

本工事は、那覇空港新国際線ターミナルビルの整備に伴い、那覇空港のエプロン舗装を新設するものである。

施工は、供用中の制限区域内で作業するものであり、航空機最優先で施工することは当然のことながら GSE 通路の切り廻しに伴う、空港内の関係事業者との調整及び他の工事業者との施工間の調整を密に行う必要があった。

工事内容については、既存の GSE 通路及びガイドラインの標識を関係事業者と調整の上、変更を施しつつ工事エリアを確保、バリケードにて区域明示、既存のエプロン舗装を隣接する GSE 通路に注意しつつ撤去した後、磁気探査調査にて埋設不発弾の有無を確認し、既存幹線函渠頂版を破碎・撤去を行った後に、現場打U型側溝及びエプロン舗装を施工したものである。

制限区域内の作業という規制下で、且つ、隣接する場所では新国際線ターミナルビルの整備が行われており、また、台風等による雨天の影響も受けるなど、非常に厳しい工程であったが、那覇空港の関係事業者と適切に調整が行われた結果、無事故で工期内に完了することが出来たものである。

なお、施工管理においても品質、出来形も共に良好であった。

位置図



工事概要

- 事務所名／那覇港湾・空港整備事務所
- 工事場所／沖縄県那覇市鏡水
- 工事内容／構造物撤去工 一式
 - 空港土工 一式
 - 小型水路工 一式
 - 空港舗装工 一式
 - 飛行場標識工 一式
 - 消防水利施設工 一式
- 工期／ H25.4.13～H25.12.20
- 契約金額／ ¥222,757,500

優良施工工事

件名 石垣港(新港地区)防波堤(外)築造工事

会社名 (株)南海土木



工事説明

本工事は、石垣港(新港地区)防波堤(外)の堤頭部約30mを施工するものである。

本工事の施工場所は、石垣港への入出港船舶が輻輳する水域であり、工事に使用する大量の石材、コンクリート等の資材及びケーンの曳航、消波ブロックの運搬に際しては、当該工事の安全対策は勿論のこと、他航行船舶に対する事故防止に特段の配慮が必要であった。また、本工事では上部工以外の全ての工種において水中作業が伴うため、潜在的な危険性を伴う潜水作業時の安全対策も求められた。

一方、施工箇所近隣では水産活動が営まれているため、基礎石や被覆石投入作業に伴う濁りの拡散に十分注意を払う必要があった。

これらの課題に対し、運搬作業時に全ての作業船への回転灯設置による視認性の向上や、潜水士による水中均し作業への機械施工(水中バックホウ)の導入により、安全性・効率性の向上を図った。

また、汚濁防止枠の改良及び汚濁防止膜の補強により、施工中に発生する汚濁水の越流・拡散防止など、積極的に環境対策を行った。

施工期間中は、台風接近に伴う作業中断が頻繁に発生したが、適正な工程管理のもと、無事故・無災害で工期内に竣工することが出来た。



工事概要

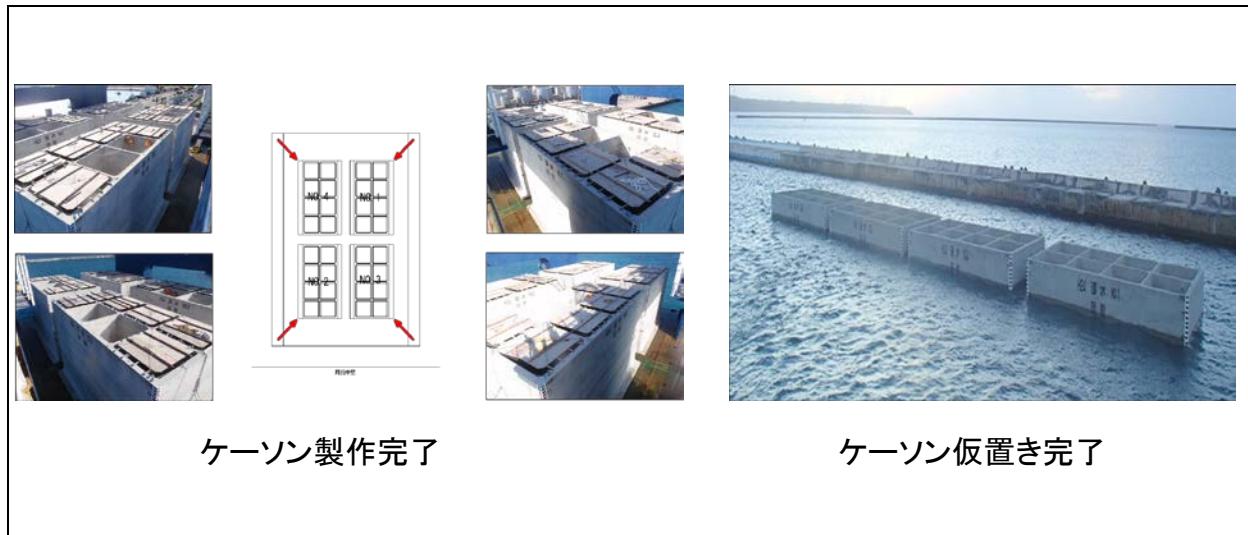
- 事務所名／石垣港湾事務所
- 工事場所／石垣市八島町地先
- 工事内容／

| | |
|--------|----|
| 共通工 | 一式 |
| 基礎工 | 一式 |
| 本体工 | 一式 |
| 被覆・根固工 | 一式 |
| 上部工 | 一式 |
| 消波工 | 一式 |
- 工期／H25.7.12～H26.3.14
- 契約金額／¥206,745,000

優良施工工事

件名 平良港(漲水地区)岸壁(-7.5m)(改良)(耐震)ケーソン工事

会社名 座波建設株



ケーソン製作完了

ケーソン仮置き完了

工事説明

本工事は宮古圏域の安定的な海上輸送の確保及び非効率な荷役形態の改善と大規模地震時の物資輸送に対応するため、平良港において初めて整備される事となった耐震強化岸壁の本体部となるケーソン製作であり、重量が 1000t を超える大型の構造物で、海上に浮かべた FD 船上で4函同時の製作であった。

ケーソン高さが 10m を超え高所作業となる為、転落事故やクレーン事故防止のため、吊作業時の「注意喚起装置」の使用、作業中止判断をリアルタイムに確認できる「警報機付き風速計」の配備、「安全な昇降設備」を採用するなどの工夫の他、安全講習会なども工夫し、安全対策の充実を図った。

ケーソン進水・仮置の施工にあたっては、平良港を利用する定期航路・不定期航路等の一般航行船舶や官公庁船舶へ事前に工事の内容を周知できるリーフレットを配布した他、協力願いを丁寧に行なった結果、利用者からの苦情も一切なく、工事を円滑に行なうことが出来た。

本施設は重要構造物である耐震強化岸壁の本体工であり、その品質について、NETIS の「有用な新技術」と評価された技術を使用し品質向上に努めた。

また、地域で行われた行事(宮古島トライアスロン)にボランティアとして参加し、宮古島市長からも感謝され、港湾工事のイメージアップに寄与した。

位置図(沖縄県宮古市平良字西仲宗根地先)



工事概要

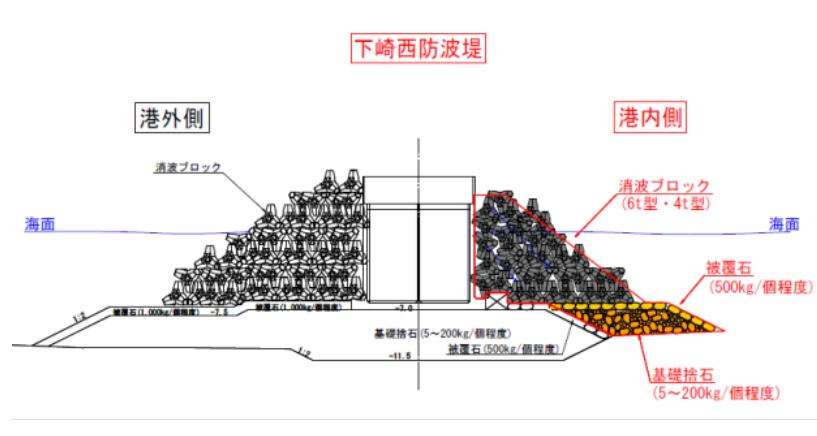
- 事務所名／平良港湾事務所
- 工事場所／宮古市平良字西仲宗根地先
- 工事内容／本体工(ケーソン製作)一式
(ケーソン進水・仮置)一式
- 工期／H25.2.20～H25.6.28
- 契約金額／¥225,015,000

優良施工工事

件名 平良港(本港地区)防波堤(下崎西)改良工事(第2次)

会社名 (株)古波蔵組

【完成断面図】



工事説明

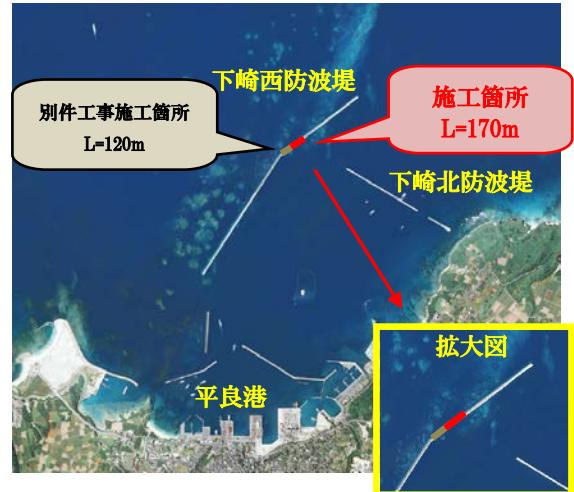
本工事は、平良港の物流機能が集中する漲水地区及び下崎地区の静穩度及び先島地方を航行する船舶の荒天時における安全性の確保を目的とし、防波堤(下崎西)の港内側に基礎捨石及び被覆石の投入・均しと消波ブロック据付を行う工事であった。

施工場所は沖合からの波浪や工事区域付近を航行する一般船舶から発生する航跡波による影響が大きい事が予想された為、工事区域に接近する一般船舶を事前に感知し作業員へ周知する船舶航行検知システムの配備や工事区域付近を航行する船舶に対して作業状況を周知させる三色ランプ(赤:潜水作業中・青:中止中・黄:準備中)を作業船の高い位置に取り付けて他船への警告及び周知を行うなどの工夫を行った結果、事故や苦情も無く安全に作業が行えた。

また、水中バックホウによる石材(捨石・被覆石)均し時は、一般的に使用する水中バックホウ支援台船(アンカ一式)から起重機船(スパッド式)に変更することにより波浪や航跡波による作業船の動搖を最小限に抑えられ、安全性の向上や工程の遅延防止が図られた。

隣接工事業者との調整等においては、海上及び陸上施工業者(計7社)にて安全協議会を設置し、定期的な打合わせや全業者無事故無災害を目的とした安全大会を実施し安全の高揚に努めた他、日々の道路散水及び清掃活動など地域生活環境への細心の配慮を行い、工事を無事故無災害で完成出来た。

位置図



工事概要

- 事務所名／平良港湾事務所
- 工事場所／宮古島市平良字下崎地先
- 工事内容／基礎工 一式
被覆・根固工 一式
消波工 一式
共通工 一式
- 工期／H25.8.9 ~ H26.3.31
- 契約金額／¥204,960,000-

安全施工工事一覧

安全施工工事の選考基準

1. 工事の実施にあたり、施工の安全確保に特段の配慮がなされ、かつ工事の成績が優秀であったもの
2. 困難立地条件のなかで、安全確保を図るために積極的に創意工夫がなされ、安全施工に顕著な成績を上げたもの
3. 安全施工に関して顕著な成果を上げ、他の請負業者の模範として、推奨すべき成果をあげたもの

| 工事件名 | 業者名 | 事務所等名 | 項目 |
|---------------------|--------------|-------|-----|
| ● 平成25年度与那覇地区道路舗装工事 | 鹿島道路(株)沖縄営業所 | 南部国道 | P19 |
| ● 首里城黄金御殿その他機械設備工事 | ヤシマ工業(株) | 記念公園 | P20 |

安全施工工事

件名 平成 25 年度与那霸地区道路舗装工事

会社名 鹿島道路株式会社 沖縄営業所



工事説明

本工事は、与那原バイパスの新設道路工事および506号側道部の舗装打換工事である。

与那原バイパスの新設道路工事は早期供用を図るため、安全管理および工程管理が課題となり、構造物班の2班施工や24時間体制での施工(昼:構造物、夜:舗装)を行った。重機作業がメインとなるため、安全対策として、舗装の転圧機械(各種ローラ)にバックセンサーを装着し、バックホウにはヘルメットセンサーを装着して重機と作業員の接触事故対策を行った。

506号側道部の工事は、朝夕の慢性的な渋滞という問題点があり、既設舗装の健全度を測定し、大粒径アスコンを使用する舗装構成の立案、協議を行い、通行止め期間および車線規制の期間を短縮でき、安全性、工程短縮に寄与することができた。

また、各工種施工前の事前検討会を実施し、人員配置・事前段取り(道具整備・作製)について、従業者全員の周知徹底が図れ、本施工時の混乱もなく、施工が効率的になり安全性が向上し、無事故で工事を完了することができた。

位置図



工事概要

- 事務所名／南部国道事務所
- 工事場所／島尻郡南風原町与那霸地内
- 工事内容／

| | |
|---------|----|
| 道路土工 | 一式 |
| 地盤改良工 | 一式 |
| 舗装工 | 一式 |
| 排水構造物工 | 一式 |
| 縁石工 | 一式 |
| 防護柵工 | 一式 |
| 標識工 | 一式 |
| 区画線工 | 一式 |
| 情報ボックス工 | 一式 |
- 工期／H25.4.24～H25.12.20
- 契約金額／¥212,100,000

安全施工工事

件名 首里城黄金御殿その他機械設備工事

会社名 ヤシマ工業(株)



建物外観(位置図の左下より)



黄金御殿 2階廊下

工事説明

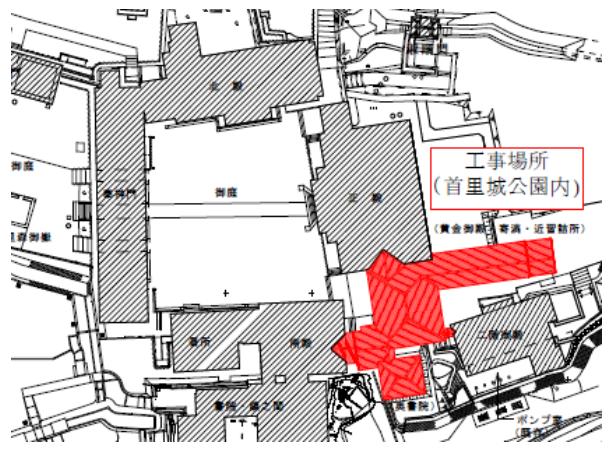
本工事は首里城地区における黄金御殿・寄満・近習詰所、奥書院の復元工事に係る空気調和設備の新設工事及び給排水衛生設備の新設・改修工事を行う。また、黄金御殿の内部にエレベータ設備の新設工事を行うものである。

既設の給水・消火設備の切回し配管工事において、消火設備の4系統(屋内消火・屋外消火・放水銃・ドレンチャー)が全て開園区域に関わるため、工事中に火災等が起こった場合を想定し施工計画を立てる必要があった。

当初予定では、同時に全ての消火設備の切回し配管工事を行う予定であったが、開園区域への影響を最小限にするために切回し対象物を1系統毎に分割し施工を行った。施工にあたっては、事前に施設管理者と綿密な協議調整を行い、切回し期間中の消火機能の停止系統や日時などを説明し、全職員への周知と巡視の協力を依頼した。また切回し期間中の消火設備の代替えとして、大型消火器を仮設置し緊急時に備えた。その結果、現場内及び開園区域での事故・災害も無く出来た。

開園区域と隣接している箇所においては、景観保護にも配慮した安全対策を行う必要があつたため、仮囲いによしすを使用した。来園者からの苦情も無く工事を完成させることが出来た。

位置図



工事概要

- 事務所名／国営沖縄記念公園事務所
- 工事場所／首里城地区(那覇市)
- 工事内容／

| | |
|----------|----|
| 空気調和設備 | 一式 |
| 換気設備 | 一式 |
| 自動制御設備 | 一式 |
| 衛生器具設備 | 一式 |
| 給排水設備 | 一式 |
| 消火設備 | 一式 |
| エレベーター設備 | 一式 |
| 撤去工事 | 一式 |
- 工期／H23.11.10～H25.12.27
- 契約金額／¥120,645,000

優良業務一覧

優良業務の選考基準

1. 設計計画の立案及び創意工夫等において技術力が優秀で出来ばえも良く、他の業務の模範となるもの
2. 設計計画等に新技術を導入し、今後の設計計画技術の研究及び向上に貢献度が大きく、かつ、とりまとめ、出来ばえも良好なもの

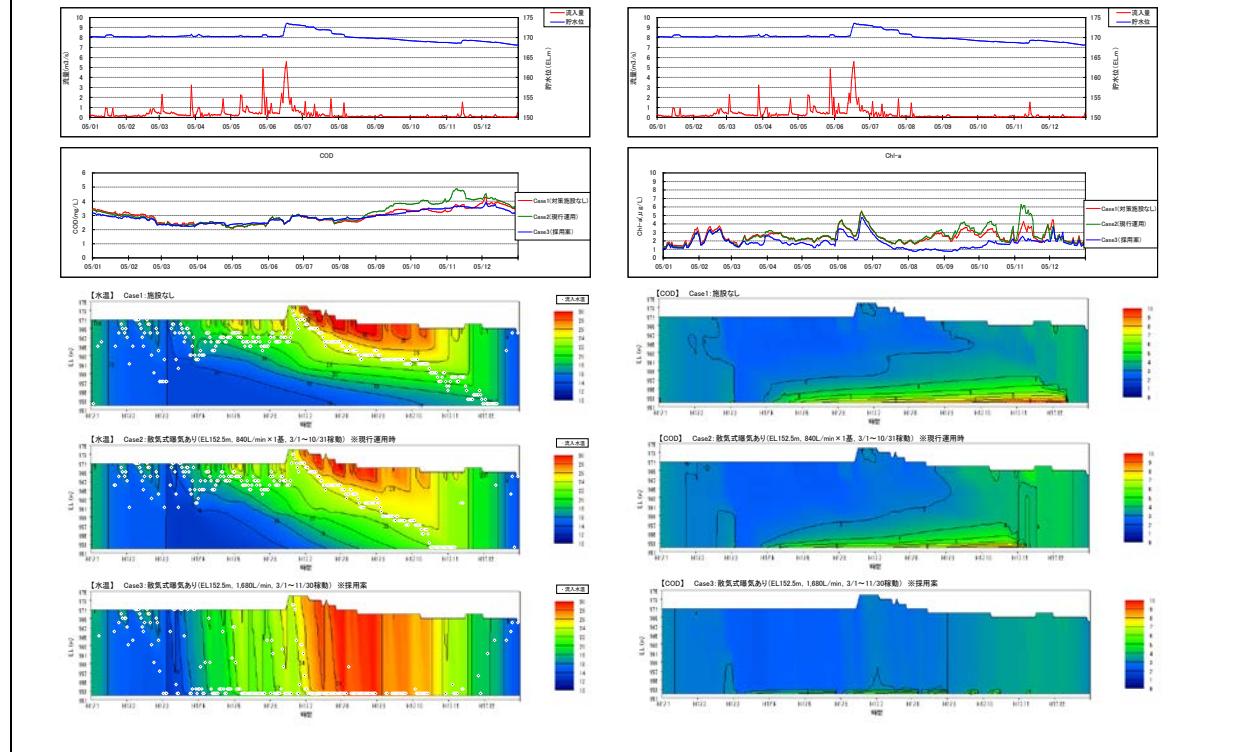
| 業務件名 | 業者名 | 事務所等名 | 項目 |
|------------------------------------|----------------------------|---------|-----|
| ● 平成25年度辺野喜ダム・漢那ダム貯水池水質保全設備計画検討業務 | (株)建設技術研究所・(一財)沖縄県環境科学センター | ダム統管 | P22 |
| ● 平成25年度億首ダム自然環境調査業務 | いであ(株)沖縄支社 | 北部ダム | P23 |
| ● 平成24年度北部国道道路許認可審査等業務 | (株)アークスタッフ | 北部国道 | P24 |
| ● 平成25年度恩納南BP6号橋橋梁詳細設計業務 | 大富建設コンサルタント・橋梁コンサルタント設計共同体 | 北部国道 | P25 |
| ● 平成24年度北部国道事務所改築関係工事監督支援(その3)業務 | パシフィックコンサルタント(株) 沖縄支社 | 北部国道 | P26 |
| ● 平成25年度中山トンネル外水文観測及び地すべり調査業務 | 日本工営(株)沖縄事務所 | 南部国道 | P27 |
| ● 平成25年度南部国道事務所用地調査点検等技術業務 | (株)オゼック | 南部国道 | P28 |
| ● 平成25年度南部国道管内道路法面・土工構造物等点検(その1)業務 | (株)朝日建設コンサルタント | 南部国道 | P29 |
| ● 平成25年度 公園事務所関係資料整理業務 | (一社)沖縄しまたて協会 | 記念公園 | P30 |
| ● 中城湾港地形変化調査検討業務 | (株)エコー | 那霸港湾・空港 | P31 |
| ● 平良港(漲水地区)工事影響検討業務 | 三井共同建設コンサルタント(株) | 平良港湾 | P32 |

優良業務

件名 平成 25 年度辺野喜ダム・漢那ダム貯水池水質保全設備計画検討業務

会社名 (株)建設技術研究所・(一財)沖縄県環境科学センター設計共同体

予測計算結果(辺野喜ダム:ダムサイト水温・COD コンター図)



業務説明

本業務は、辺野喜ダム・漢那ダムにおいて、各ダムの利水運用等を踏まえた貯水池水質特性の現状分析を行い、既設曝気設備を含めた水質保全設備の機能効果について検証するとともに、水質保全設備の運用変更や設備改良又は新設を含めた改善策を検討し、最適な貯水池水質保全設備計画(案)として取りまとめたものである。

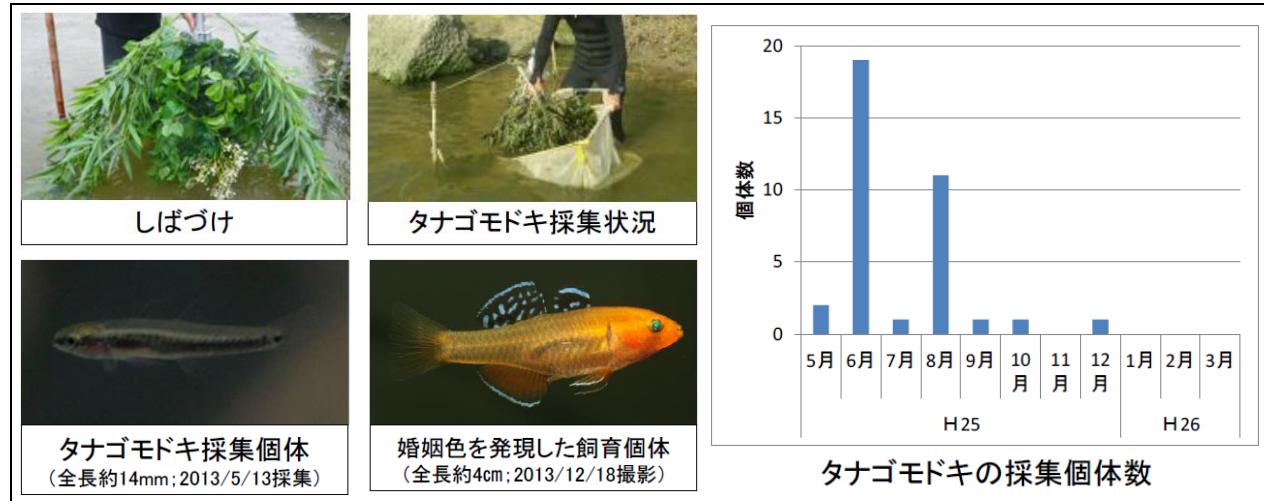
業務実施にあたっては、水質保全設備の整備状況、経年変化、水質異常の経緯及び水道事業者の利水障害等について整理し貯水池水質等を把握するとともに、水質保全設備の運用条件・稼働状況を踏まえた既設曝気設備による効果の検証を行った。また、現地試験結果を基に酸素消費速度を設定することにより深層 DO や栄養塩類等の溶出の再現精度を向上させ、さらに生態系と鉄・マンガンの挙動を一体的に解析可能なダム貯水池の鉛直二次元水質予測モデルを構築することで、現有設備での対応の可能性や設備改良・新設などについて検討を実施し、最適な貯水池水質保全設備計画(案)として取りまとめることができた。



優良業務

件名 平成 25 年度億首ダム自然環境調査業務

会社名 いであ(株)沖縄支社



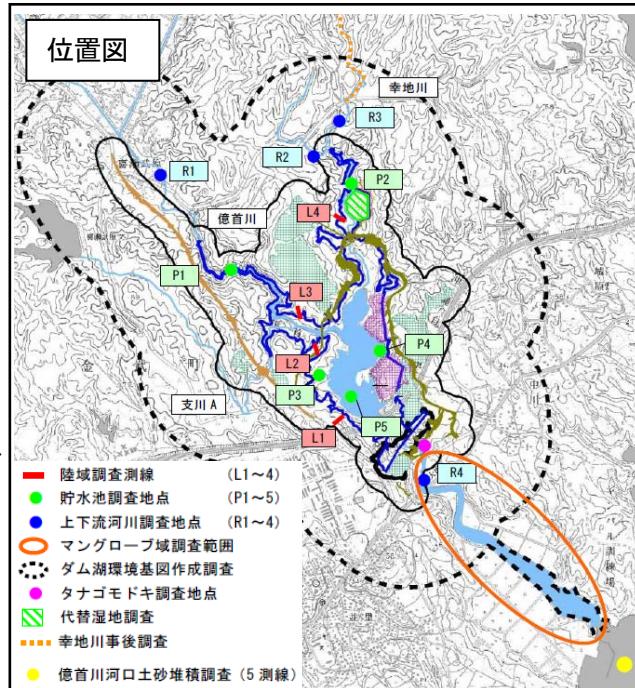
業務説明

本業務は、億首ダムにおけるフォローアップ調査の一環として、モニタリング調査を実施し、ダム建設前後の事業に伴う環境への影響を把握するもので、この調査結果は、ダム建設事業に伴う事業の影響を評価する上で、最も重要な要素となるものである。特に当該年度は、試験湛水直後の調査として、より高い調査精度の確保が求められた。

本業務の範囲は、ダム湖及びその周辺陸域、上下流河川の広範囲且つ、陸域動植物、水生生物、マングローブ域生物の多岐に及ぶ生物を対象としているが、各種生物に精通した技術者を配置して万全な体制で対応した。

また、過年度の生態系保全検討委員会等で出された課題や、有識者からの意見も反映しながら、調査方法の工夫を行い、特にタナゴモドキ(希少種)の調査にあたっては、擬似的な生息環境「しばづけ」を考案した結果、確認個体数の精度向上が図られた。種の同定にあたっては、有識者からの意見も踏まえつつ、現時点で科学的に可能な限り追求した。

さらに、現地踏査時においては、気候等の自然環境による影響であるのか、または、ダム事業による影響であるのかを的確に確認するため、調査実施時の現地状況等を補完し、その後実施された委員会等における的確な評価に繋がった。



- 事務所名／北部ダム事務所
- 業務場所／沖縄県国頭郡金武町内
- 業務内容／
 - 生物調査 一式
 - 影響の確認調査 一式
 - 環境保全措置等の効果の確認調査 一式
 - 分析及び同定 一式
 - 億首川河口土砂堆積調査 一式
- 工期／H25.4.1～H25.3.31
- 契約金額／¥26,775,000

優良業務

件名 平成24年度北部国道道路許認可審査等業務

会社名 (株)アークスタッフ



適正化指導業務実施状況

写真左:特殊車両の通行に係る指導取締り

写真右:道路の不正使用・不法占用等に係る指導取締り



業務説明

本業務は、道路法に基づく各種申請等の審査・指導等及び道路の不正使用・不法占用の指導取締り並びに道路利用者からの通報・行政相談への対応や災害時等緊急時における情報収集連絡など、複雑で多岐にわたる。よって、業務担当者は道路法や関係通達等諸法規・基準に精通していることが必須である。特に窓口対応や各種申請の審査では公正・中立な立場を堅持することに加え、常に適切な処理期間を意識して業務に取り組まなければならず、豊富な経験・知識を持ち合わせた担当技術者の配置が求められた。

このような業務条件を踏まえ、当業務実施者は全ての担当技術者を同種・類似業務経験者から選定し配置した。さらに当事務所の事業および地域特性に精通した経験豊富な技術者を主任担当技術者と定め、管理技術者と共に他の担当技術者をサポートする体制を構築することにより、円滑に業務を遂行した。

また、災害時等緊急時における情報収集連絡として、長期化した大宜味村根路銘の土砂災害警戒へ雨量監視員として従事し、通常勤務時間外も各担当技術者のローテーションによる監視体制を実施した。



許認可審査業務実施状況

写真:道路法に基づく申請書類の受付及び審査等

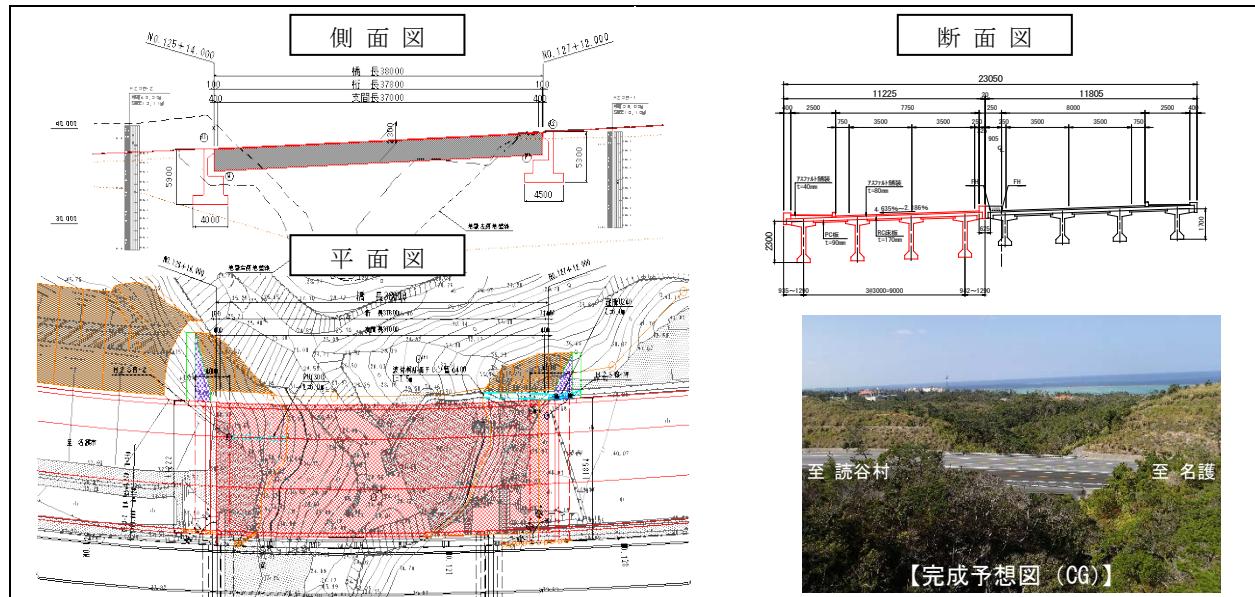
業務概要

- 事務所名／北部国道事務所
- 業務場所／北部国道事務所管内
- 業務内容／道路許認可審査・適正化指導
一式
- 業務打合せ
一式
- 指揮・監督業務
一式
- 工期／H24.4.1～H26.3.31
- 契約金額／¥97,177,500

優良業務

件名 平成 25 年度恩納南 BP6号橋橋梁詳細設計業務

会社名 大富建設コンサルタント・橋梁コンサルタント設計共同体



業務説明

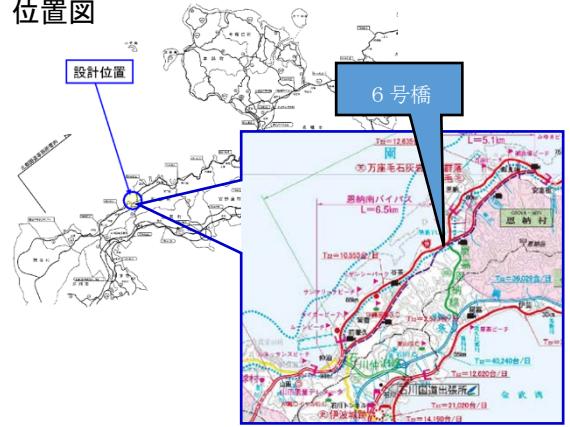
本業務は、恩納南 BP6号橋の2期線側施工を行うための橋梁詳細設計及び地質調査・測量調査業務である。橋梁については経済性・構造性はもとより、維持管理や施工の確実性を重視した設計計画を行ったものである。

恩納南 BP は現在暫定2車線で供用中であり、橋梁架設時には暫定側の通行車両等の走行及び安全性に配慮して、その影響を最小限とすることが課題であった。そのため、橋台施工時の仮設土留め工による段階施工を立案し、施工段階毎のSTEP図を作成し、具現性の高い下部工施工計画を提案した。

本橋の上部構造形式はPCT桁橋であり、架設桁架設で計画される。暫定側橋梁との離隔が小さいため、上部工架設時に暫定側橋梁と架設機材である門構の脚が干渉する等の施工的課題をクリアする必要があった。そこで門構に仮支柱を設け、主桁を横移動させる等の具体的な提案する等、施工時の細部に配慮した施工計画を立案した。

また、本橋の構造形式の決定にあたっては、将来の維持管理に着目した構造細目の検討を行い、維持管理に配慮した構造を採用している。

位置図



業務概要

- 事務所名／北部国道事務所
- 業務場所／北部国道事務所管内
- 工事内容／

| | |
|--------|----|
| 橋梁詳細設計 | 一式 |
| 仮設工設計 | 一式 |
| 地質調査 | 一式 |
| 測量 | 一式 |
- 工期／H25.10.11～H26.3.20
- 契約金額／¥13,524,000

優良業務

件名 平成24年度北部国道事務所改築関係工事監督支援(その3)業務

会社名 パシフィックコンサルタンツ(株) 沖縄支社



安全パトロール



地滑り箇所調査

工事説明

本業務は、北部国道事務所において発注される改築関係工事に関する監督補助を行うものであり、監督職員を支援し、当該工事における品質確保と安全で円滑な工事実施を図ることを目的とする業務である。

実施に当たり、発注における各種基準等を熟知したうえで担当工事の現場条件による関係機関との調整の必要性把握、設計図書と現場の照合により施工計画の確認を進め迅速・的確に業務を遂行する必要があった。

また工事に関連する協議調整は、契約変更や工期への影響の確認を含め円滑な対応が必要であり、課題に応じ担当者間の相互確認を行うとともに、対応の遅れが生じないよう十分な検討と迅速な対応も不可欠であった。

そのため管理技術者及び担当技術者を道路行政や当該事務所の地域性や過去の経緯に精通した同種業務経験者を配置し、

毎週、管理技術者を含めた業務打合せや社内研修による技術力向上を実施するとともに、各工事への積極的な情報の収集を行い、発注者、監督職員、関係機関、工事関係者、関連業務関係者との日常的に適切なコミュニケーションを図りながら円滑に業務を遂行した。



現場安全点検

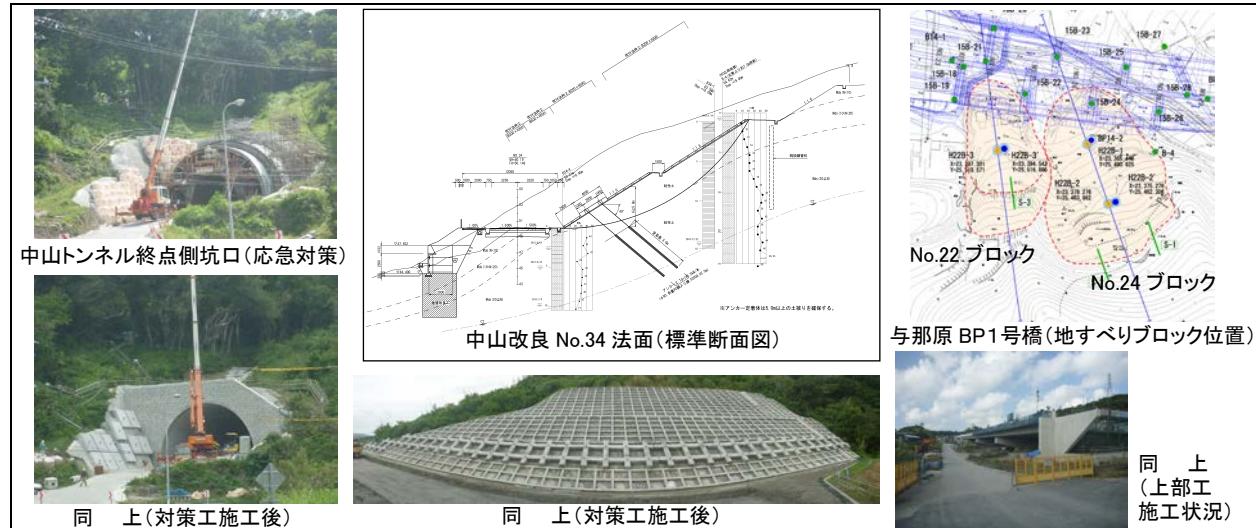
工事概要

- 事務所名／北部国道事務所
- 業務場所／北部国道事務所管内
- 業務内容／打合せ 1式
工事管理 1式
工事監督支援 1式
- 工期／H.24.4.7～H26.3.31
- 契約金額／¥82,334,700

優良業務

件名 平成 25 年度中山トンネル外水文観測及び地すべり調査業務

会社名 日本工営株式会社 沖縄事務所



業務説明

本業務は、中山トンネルおよび豊見城トンネルにおいて水文観測を実施し施工による周辺地下水への影響を評価することと、中山改良事業、与那原バイパス事業においては地すべり調査・観測を行い、施工中の諸課題について検討することを目的として実施した。

中山トンネル、豊見城トンネル(2期線工事)では、工事着手前から水文観測が継続されており、本業務では施工後1年間のモニタリングという位置付けで地下水・湧水量観測、河川流量観測および水質調査を行った。これらの観測結果から、トンネル掘削による周辺の水文環境への影響がなかったことを確認し、施工前から継続していた観測を完了させることができた。

中山トンネル施工中には梅雨期の降雨により終点側坑口上部斜面において変状が発生し対策工が必要になった。応急対策・地質調査の提案、観測および対策工詳細設計を行ったが、当地区に分布する新里層の地質特性を考慮して、対策工法はアンカー引抜き試験を先行し周面摩擦抵抗値を予め確認して選定した。工事は問題なく竣工した。また、トンネルに近接した法面(測点No.34)において施工中に問題が生じたため、地質調査と地すべり対策工設計を行った。

与那原バイパス1号橋施工では、地すべりブロックの末端部を切土することから地すべり観測によりブロックの挙動を監視した。懸念されていた、切土によるブロックへの影響は確認されず工事を無事に終了することができた。



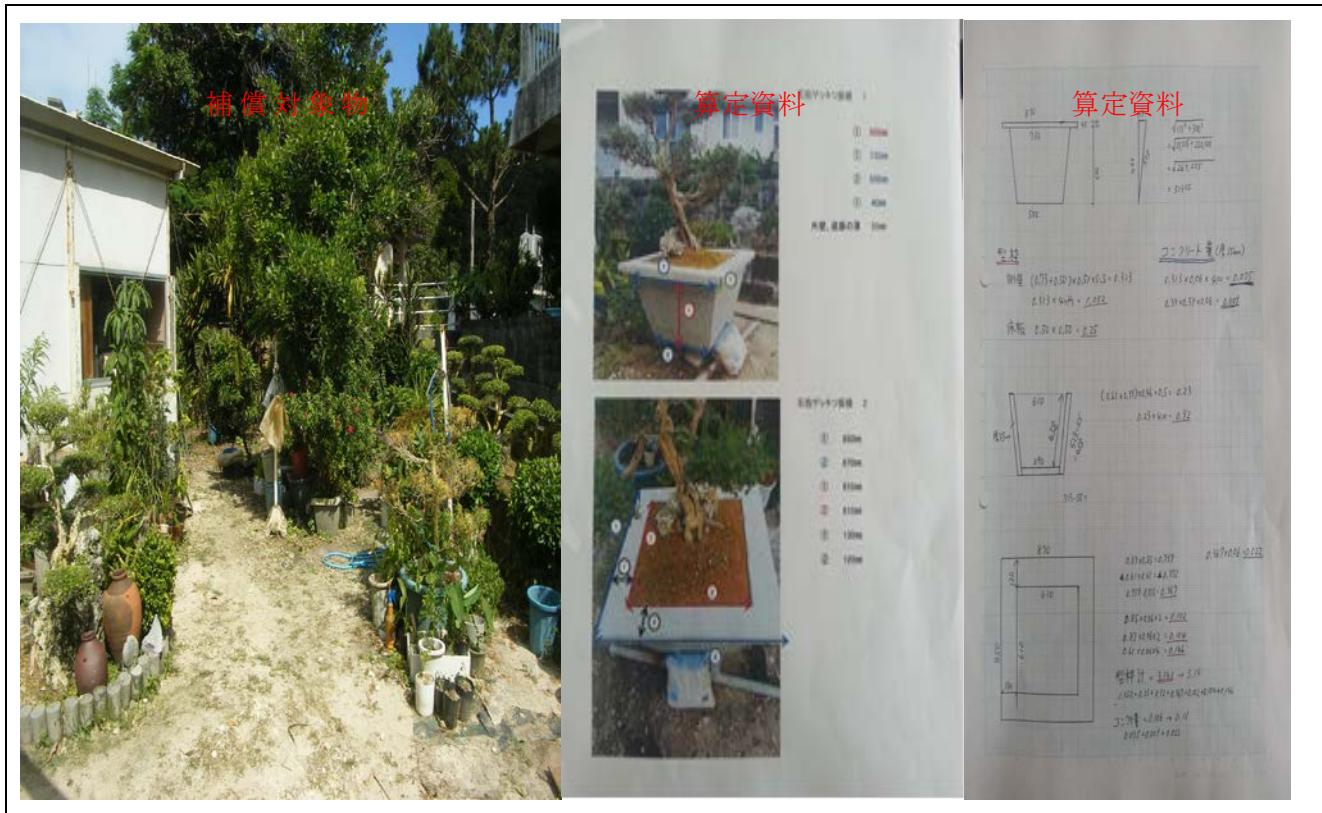
業務概要

- 事務所名／南部国道事務所
- 業務場所／南部国道事務所管内
- 業務内容／地質調査・解析 一式
- 地すべり調査・観測 一式
- 地すべり解析 一式
- 水文観測 一式
- 水質分析 一式
- アンカー引抜き試験 一式
- 地すべり対策工詳細設計 一式
- 工期／H25.4.13～H26.3.31
- 契約金額／¥42,945,000

優良業務

件名 平成25年度南部国道事務所用地調査点検等技術業務

会社名 株式会社 オゼック



業務説明

本業務は、事業に必要な土地等の取得等に伴う測量、調査、補償金額の算定等に係る進捗状況を確認するための工程管理補助若しくは成果の点検・調査確認又は用地関係資料の作成等を行うものである。

本業務において、特に、損失補償に伴う被補償者との用地交渉に用いる説明資料及び補償金額の算定に係る資料は、補償内容の根拠となる重要な資料であり、その作成に当たっては、補償関係法令並びに補償基準等への精通が求められる。

当該業者は、業務従事者に多くの資格保持者を擁し、豊富な知識と高い知見により、適正かつ迅速に業務を遂行した（業務従事者：総合補償士2名、補償業務管理士4名、一級建築士1名、二級建築士1名、測量士補1名）。

また、難航案件の用地交渉において必要となつた、補償金額算定に係る説明資料の作成に当たり、発注者の指示を的確に認識し、被補償者が充分理解、納得し得る資料の作成を行い、補償契約妥結に大きく寄与した。



業務概要

- 事務所名／南部国道事務所
- 業務場所／南部国道事務所管内
- 業務内容／用地関係資料の作成
 - 用地調査等の工程管理補助
 - 調査書等の点検・調査確認
 - 資料収集調査、等
- 工期／H25. 4. 1～H26. 3. 31
- 契約金額／¥34, 335, 000

優良業務

件名 平成 25 年度南部国道管内道路法面・土工構造物等点検(その 1)業務

会社名 株式会社 朝日建設コンサルタント

| |
|--|
| <p>〈点検の実施フロー〉</p> <p>（1次点検作業状況） （2次点検作業状況）</p> <p>〈調査記録表〉 調査記録表-40</p> |
|--|

業務説明

本業務は、総点検実施要領(案)【道路のり面工・土工構造物編】に基づき、南部国道事務所管内に所在する「のり面工・土工構造物等」について、落下や倒壊による第三者被害を防止することを目的として、点検・記録を行い、応急措置としてコンクリートの浮き落としを行ったものである。

業務対象範囲は、位置図に示した「与那原維持出張所及び那覇空港自動車道出張所」管理区域内の対象路線(延長 97.1Km)の区間である。

1次点検は、路上からの双眼鏡使用等を含む目視点検により、老朽化・劣化・変状・損傷等の「異常」の有無を確認し、2次点検の対象となる「のり面工及び土工構造物等」を抽出・記録した。2次点検は抽出された案件について、小段やのり肩に登り、または、高所作業車を使用して近接目視、打音検査、触診等による点検・記録を行った。点検結果の判定は、実施要領(案)に記載されている判定基準に基づき実施した。

本業務は、長区間に亘る徒歩や高所作業車等による点検作業であったが、点検箇所における異常を見逃さないよう十分な注意を払い、現地での記載を原則とした記入漏れ防止を図り、作業員の安全はもとより歩行者や通行車両等の安全にも留意して、丁寧かつ着実な点検を心がけた。また、沿道の住民および道路利用者からの被害対策の要望事項等についても連絡調整のうえ対応し業務を達成した。



業務概要

- 事務所名／南部国道事務所
- 業務場所／南部国道事務所管内
- 業務内容／1次点検 一式
1次点検資料整理 一式
2次点検 一式
2次点検資料整理 一式
- 工期／H25.9.11～H26.2.20
- 契約金額／¥22,155,000

優良業務

件名：平成25年度 公園事務所関係資料整理業務

会社名：一般社団法人 沖縄しまたて協会



発注者との打合せ



週間業務打合せ

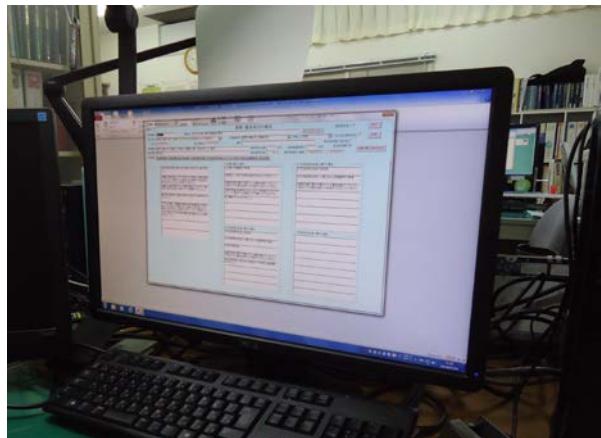
業務説明

本業務は、業務発注資料の作成、技術資料の分析・整理、業務積算を行う他、業務関連資料の作成を行うことにより、円滑な事業推進の支援を行うもので、技術者には高度な技術力と的確な判断力が求められた。業務の履行にあたって、守秘性の確保、業務の正確性について以下の取り組みを実施した。

守秘性の確保にあたっては、知り得た情報を機密情報として担当技術者への倫理教育を実施するとともに、執務室への関係者以外の立ち入り禁止の徹底と、情報セキュリティ管理の高度化に努めた。

業務の正確性については、自社で開発した「技術審査システム」を活用し、ミス防止に努め担当技術者間の統一的な判断と成果品の品質向上を達成することができた。

また、業務集中発注時の繁忙期、納期の短い業務関連資料作成時には自社の各部署との支援体制を強化し、成果品の品質を低下させることなく業務を履行できた。



技術審査システム

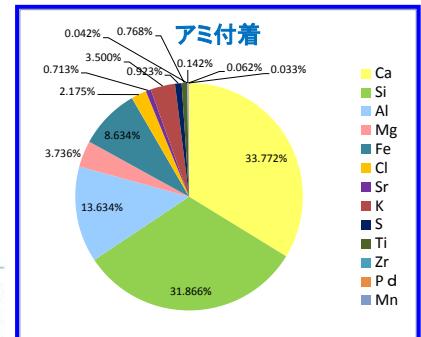
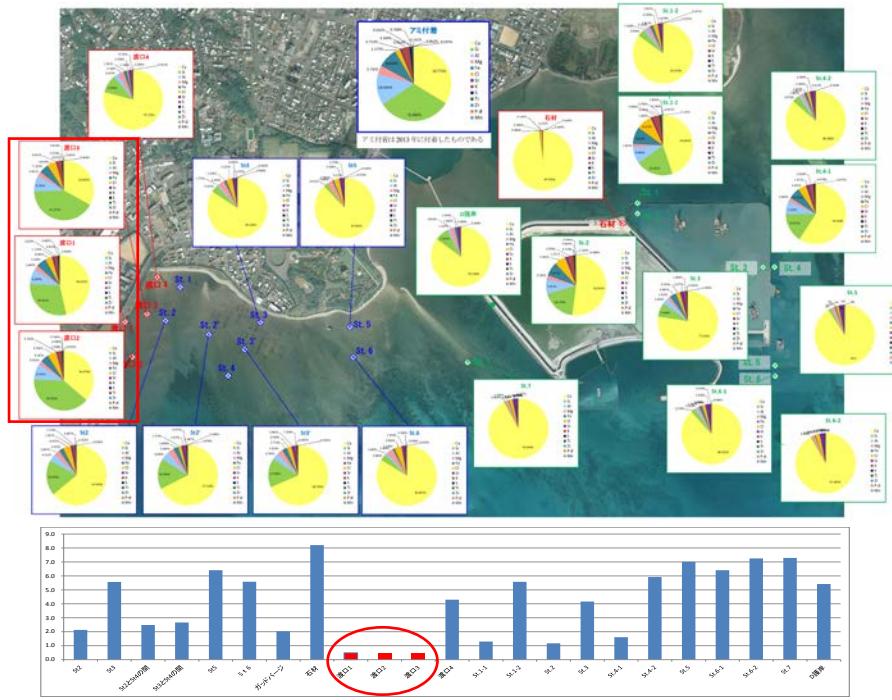
業務概要

- 事務所名／国営沖縄記念公園事務所
- 業務場所／国営沖縄記念公園事務所管内
- 主な業務内容／業務積算資料作成 一式
　　業務発注資料作成 一式
　　業務関連資料作成 一式
- 工期／H25.4.1～H26.3.31
- 契約金額／¥41,286,000

優良業務

件名 中城湾港地形変化調査検討業務

会社名 株式会社エコー



◎アーサ特区の網に付着した底質構成元素(例)

◎蛍光X線分析結果

◎カイ2乗検定結果
赤線で囲った河口(渡口)1~3の地点が、網に付着した底質と同質であることを客観的に示した。

業務説明

本業務は泡瀬地区砂州の地形変化及び現況の水深を把握することにより、今後の事業実施計画の基礎資料を得ることを目的としている。また、「中城湾港環境保全対策報告検討会」の要請に対応して、工事に対する地域理解の観点から、アーサ地区養殖場の環境(底質)変化について調査を実施した。

本業務を実施する上で困難な課題は、アーサに付着した底質の特性を把握した上で、その底質がどこから供給され、付着したかを客観的に解析することであった。

この問題を解決するために、アーサに付着した底質構成元素の割合を蛍光X線分析により求め、工事箇所・周辺の河口(渡口)を含めた25地点の分析結果から、カイ2乗検定により客観的に底質の供給源を把握する方法を提案して対応した。

解析結果は、航空写真・グラフなどを活用して、一般的にも理解しやすい資料を作成した。

アーサに付着した底質は、埋め立て造成工事箇所の底質構成元素とは異なり、河口(渡口)周辺の底質と酷似していることが把握されたことに加えて、カイ2乗検定により客観的に説明するこ

とが可能になり、漁業関係者の理解を得るとともに、土砂供給源を明らかにすることによって、良好な信頼関係を構築した。



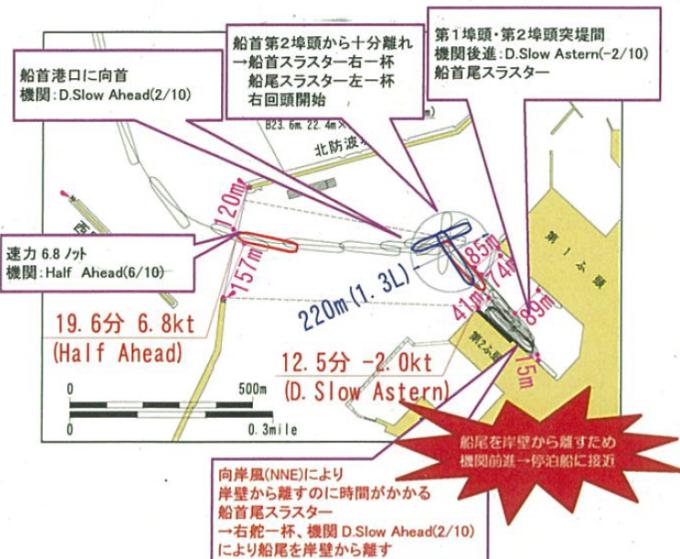
底質調査地点図

業務概要

- 事務所名／那覇港湾・空港整備事務所
 - 工事場所／沖縄市泡瀬地先
 - 工事内容／深浅・汀線測量 1式
 - 砂州測量 1式
 - 測量結果の整理・分析 1式
 - 底質調査 6+25 地点
 - 分析試験 1式
 - 業務完成図書 1式
- 工期／H25.4.16～H26.3.31
 - 契約金額／¥23,520,000

優良業務

件名 平良港(漲水地区)工事影響検討業務



ファーストタイムシミュレーションの一例（出港時：曳船なし+風速 10m/s）

業務説明

平良港(漲水地区)の複合一貫輸送ターミナル改良事業の実施に伴い、就航最大船であるRORO船が利用岸壁をシフトせざるを得ない状況となった。本業務では、工事による操船水域の減少に加え、冬季季節風による離接岸への影響を2種のシミュレーションにより定量的に検証した。

予測条件は、利用者より聞き取りを行った第1～第2埠頭間が最も過密となる状況を想定し、予測手法は、ファーストタイムシミュレーション(鳥瞰図版)とフルミッショントビジュアル操船シミュレーション(3D版)の2種類を採用した。

さらに、就航最大船型である「みやらびⅡ」の船長によるビジュアルシミュレーションの操作結果を踏まえた上で、工事中の操船の可否を総合的に判断した。

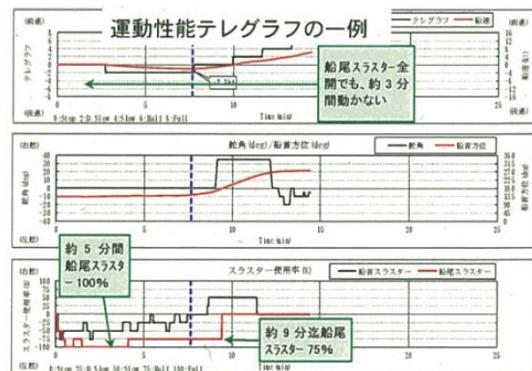
このシミュレーションの結果と当該事業の目的(冬期季節風の影響を受けやすいことに起因する就航率悪化への対応)から、以下の結論を得た。

- ◆バースシフトにより第2埠頭南側から北側に移動した場合、従来可能であった平均風速8～10m/sでは安全な出入港・離接岸が困難
- ◆シフト先での安全な出入港・離接岸に加え、入港時隣接する工事区域への接近に備えるには、タグボート(3,200ps級以上)の支援が必要。
- ◆バースシフト前の就航率(88.8%)を最低限確保するためには、平均風速8m/sを超える場合、支援船の対応が必要。

会社名 三井共同建設コンサルタント(株)



ビジュアルシミュレーションの一例（入港時：曳船なし+風速 10m/s）



業務概要

- 事務所名／平良港湾事務所
- 業務場所／平良港内
- 業務内容／出入港操船の問題把握 一式
　　対応策の検討 一式
- 工期／H25.7.24～H26.3.20
- 契約金額／¥17,871,000

優秀工事技術者一覧

優秀工事技術者の選考基準

1. 工事施工における困難性(工期、施工条件、難易性、地元情勢)を克服
2. 新しい施工技術の導入等の創意工夫
3. 土木工事現場の環境改善によるイメージアップ等への貢献度

| 工事件名 | 業者名 | 技術者名 | 事務所等名 | 項目 |
|------------------------------------|------------|--------|---------|-----|
| ● 平成25年度北部国道管内道路情報表示設備設置工事 | パイオニア電設(株) | 安河内 晃次 | 北部国道 | P34 |
| ● 平成25年度新与那トンネル照明設備設置工事 | (資)ヤナギ電設工業 | 比嘉 麟 | 北部国道 | P34 |
| ● 平成24年度南部国道管内道路施設等修繕(その2)工事 | (有)国栄建設 | 宮城 利久 | 南部国道 | P35 |
| ● 中城湾港土砂処分場二護岸外2件築造工事 | (株)太名嘉組 | 宮城 隆 | 那覇港湾・空港 | P35 |
| ● 平良港(漲水地区)岸壁(-7.5m)(改良)(耐震)ケーソン工事 | 座波建設(株) | 平良 聰 | 平良港湾 | P36 |

優秀工事技術者



**現場代理人
安河内 晃次**

- 工事名：平成25年度北部国道管内道路情報表示設備設置工事
- 事務所名：北部国道事務所
- 工期：平成25年8月31日～平成26年3月31日
- 会社名／代表者名：パイオニア電設株／仲本 浩三

この度は、栄誉ある優秀工事技術者表彰を受賞させて頂きましたことは、建設工事に携わる技術者として誠に光栄であり誇れることであります。これも、北部国道事務所や名護維持出張所の方々を始め、工事に関わった全ての関係各位のご指導や地域住民の方々のご協力を頂きました事に深く感謝申し上げます。

本工事は、国道58・329号に設置している道路情報表示装置老朽化に伴う更新工事や停電時の電源確保する為に、非常用予備発電装置の設置するものであります。

道路情報設備の取替を行う場所は、現道であり殆どの工事場所が迂回路を設ける事が困難な場所や工事規制区間に内に24時間運営する店舗が有った為、通行車両・歩行者の安全確保は言うまでも無く、工事期間中の店舗への配慮する必要がありました。社内で数多くの施工手順・作業員・歩行者等の安全性・通行車両への気配り等を協議・シミュレーションし、監督職員並びに所轄の警察署協議を経て実施しました。その結果、地域住民からの苦情もなく効率よく安全に工事を進める事が出来ました。最後になりましたが、今回の受賞を励みに、より一層の技術力・品質向上に精進し、地域環境に配慮し安全で快適な職場作りに努めていく所存でございます。



**主任技術者
比嘉 磨**

- 工事名：平成25年度新与那トンネル照明設備設置工事
- 事務所名：北部国道事務所
- 工期：平成25年6月27日～平成26年1月31日
- 会社名／代表者名：(資)ヤナギ電設工業／仲宗根 智子

この度、栄誉ある優秀工事技術者の表彰を受けました事は、建設工事に携わる技術者として誠に光栄であります。これも沖縄総合事務局北部国道事務所並びに名護維持出張所の監督職員の熱心なご指導のもと、また、工事に携わった多くの方々のご理解、ご協力があってこそその事であり、皆様に深く感謝いたします。

本工事は、新与那トンネルに設置しているトンネル照明器具及び照明分電盤の老朽化に伴い、設備の更新工事を行ったものであります。

一般車両が使用をしている現道とゆうことで、歩行者及び通行者などにトンネル内の照度不足等、迷惑のかからないように施工管理を行うほか、通行車両の交通事故防止、照明器具等の撤去時に高所からの落下物、粉塵・飛散物による事故等も懸念されたため、監督職員のみなさまと施工計画の詳細な打合せの他、照度不足対策等について、密な打合せを行い施工を進めました。

地元住民及び道路使用者の方々からの苦情もなく無事故で完成を迎えられた事が何より嬉しく思うのと同時に、今回の受賞を励みに、今後も技術者としての仕事を通して尚一層努力を重ね、更なる技術と品質の向上を目指して安全で快適な現場づくりに努めて行きたいと思います。

優秀工事技術者



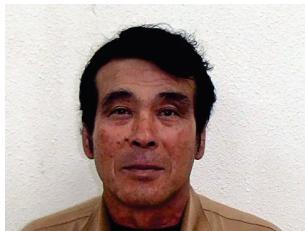
監理技術者
宮城 利久

- 工事名：平成 24 年度南部国道管内道路施設等修繕(その 2)工事
- 事務所名：南部国道事務所
- 工期：平成 24 年 9 月 28 日～平成 25 年 7 月 31 日
- 会社名／代表者名：(有)国栄建設／平良 政輝

この度、栄誉ある優秀工事技術者の表彰を賜りましたことは、建設工事に携わる技術者として誠に光栄なことです。これもひとえに、沖縄総合事務局南部国道事務所、与那原維持出張所の監督職員・現場技術員のご指導をはじめ、工事関係者、地域住民のご協力とご理解の賜物と心より深く感謝申し上げます。

本工事は、南部国道事務所管内の 7 地区に点在する道路施設の工事であり、各地区それぞれ工事の特性が大きく異なる工事で、各地区ともに効率よく施工を行う必要があり、各地区担当技術者との打ち合わせを綿密に行ないました。特に、施工箇所に隣接する地域住民、一般通行車両・歩行者等への配慮をまず第一に考え、直接住民等に対し、工事内容の説明及び協力願いを行うことと、第三者に工事への理解が得られるよう、誠意をもって施工にあたることを、各担当技術者及び作業員とともに常に確認しあうことを日頃から心がけて参りました。その結果、工事への苦情もなく無事故・無災害で各地区効率よく、工事を完成させることができました。

最後に、今回の受賞を励みとし、社会資本の整備に携わる企業の一員として、地域社会に対し貢献できるよう、より一層の技術の研鑽、品質の向上と自然環境への配慮に努めたいと思います。



監理技術者
宮 城 隆

- 工事名：中城湾港土砂処分場二護岸外2件築造工事
- 事務所名：那覇港湾・空港整備事務所
- 工期：平成 25 年 3 月 29 日～平成 26 年 1 月 31 日
- 会社名／代表者名：(株) 太名嘉組／名嘉 謙

この度、栄誉ある優秀工事技術者の表彰を賜り、建設工事に携わる技術者として誠に光栄な事であります。これも沖縄総合事務局那覇港湾・空港整備事務所の皆様を始め、工事関係者各位の御指導、御協力があつての事と深く感謝を申し上げます。

本工事は、中城湾港(新港地区)国際物流ターミナル整備事業の一環として整備する泊地(-11.0m)で発生する浚渫土砂を投入するための土砂処分場の護岸を築造する工事がありました。

施工にあたっては、周辺海域に貴重な動植物が生息しあつ漁場に近く濁り流出対策に細心の注意を払って施工しました。また、並行する別件揚土工事で場内水位が上昇するため、当該工事を中心に他工事の全てと綿密な連絡体制を構築することで、本工事を「無事故・無災害」で完成させることが出来ました。さらに、中城湾港安全衛生協議会活動では短期ではあるが会長として運営に主導的役割を果たし、その後も積極的に取り組み、周辺環境保全のため海岸や近隣公園等の清掃活動など地域の美化活動を行いました。

今回の受賞を励みに、これからも尚一層の努力を重ね、地域の環境に配慮した安全な現場づくりに努めて行きたいと思います。

優秀工事技術者



監理技術者
平 良 聰

工事名: 平良港(漲水地区)岸壁(-7.5m)(改良)(耐震)
ケーソン 工事

- 事務所名: 平良港湾事務所
- 工期: 平成25年2月20日～平成25年6月28日
- 会社名／代表者名: 座波建設(株) 代表取締役社長 座波 隆司

この度、栄誉ある優秀工事技術者の表彰を賜り、建設工事に携わる技術者として誠に光栄であります。これも沖縄総合事務局 開発建設部 平良港湾事務所の熱意のあるご指導と迅速な対応、また共に工事で汗を流した作業員及び関係者のご尽力の賜物と心から感謝申し上げます。

本工事は、平良港に整備される耐震強化岸壁の本体部となるケーソン製作であり、海上に浮かべた FD 上で 4 函同時の製作工事でありました。施工中は、狭隘かつ高所作業である事から、クレーン事故防止の為に吊作業時の（注意喚起装置）の使用、作業中止判断をリアルタイムで確認できる（警報機付き風速計）の使用、手摺付の安全昇降設備を採用するなどの工夫を行い、製作を終えることができました。ケーソン仮置においては、仮置場が港内にある為、定期航路・不定期航路等の一般航行船舶を始め、輻輳する多くの船舶との事前調整及び協力願いを行った結果、利用者からの苦情も一切無く工事を完了できました。また、地域で行われた行事（宮古島トライアスロン）にボランティアとして参加したことが地域から感謝され港湾工事のイメージアップに寄与できました。今回の受賞を励みに、より一層の技術力・品質向上に努め、安全快適な現場作り工事を通じて社会貢献に努めていく所存でございます。

優秀業務技術者一覧

優秀業務技術者の選考基準

1. 業務履行上の困難性(工期、施工条件、難易性、地元情勢)を克服
2. 新技術の導入等の創意工夫

| 業務件名 | 業者名 | 技術者名 | 事務所等名 | 項 |
|-------------------------------|----------------------------------|-------|---------|-----|
| ● 平成25年度億首ダム自然環境調査業務 | いであ(株)沖縄支社 | 西田 弘之 | 北部ダム | P38 |
| ● 平成25年度北部国道管内測量設計(その1)業務 | (株)国建 | 上原 剛 | 北部国道 | P38 |
| ● 平成24年度北部国道道路許認可審査業務 | (株)アークスタッフ | 具志堅 潤 | 北部国道 | P39 |
| ● 平成25年度恩納南 BP6号橋橋梁詳細設計業務 | 大富建設コンサルタント・橋梁 コンサルタント設計共同体 | 中島 雅人 | 北部国道 | P39 |
| ● 平成25年度中山トンネル外水文観測及び地すべり調査業務 | 日本工営(株)沖縄事務所 | 米城 才文 | 南部国道 | P40 |
| ● 平成25年度南部国道管内防災点検設計業務 | 日本工営(株)沖縄事務所 パシフィックコンサルタント(株) | 竹原 哲郎 | 南部国道 | P40 |
| ● 那覇空港滑走路増設実施設計業務 | 沖縄支社 | 鈴木 信夫 | 那覇港湾・空港 | P41 |
| ● 那覇港(新港ふ頭地区)防波堤(新港第一)構造検討業務 | ポートコンサルタント(株) | 石田 誠 | 那覇港湾・空港 | P41 |

優秀業務技術者



管理技術者
西田 弘之

- 工事名：平成25年度億首ダム自然環境調査業務
- 事務所名：北部ダム事務所
- 工期：平成25年4月1日～平成26年3月31日
- 会社名／代表者名：いであ株式会社沖縄支社／支社長 西田弘之

この度、栄誉ある優秀業務技術者の表彰を受けましたことは、建設コンサルタント業務に携わるものとして誠に光栄なことです。北部ダム事務所職員の方々とアドバイザーの先生方のご支援、ご指導があつての事と深く感謝申し上げます。

本業務は、金武（億首）ダムにおけるフォローアップ調査の一環としてのモニタリング調査であり、当該年度は試験湛水後の最初の調査です。調査項目は、陸域動植物、水生生物、マングローブ域生物と多岐にわたり、最もインパクトの大きな事象である試験湛水後の生息・生育状況を把握しました。

本業務を実施するにあたっては、過年度の委員会で指摘されてきた様々な課題を踏まえ、サーチャージ水位位置に注目した生物相の比較、汚濁指標生物を用いた水質階級判定、浮草類やアオコ類を確認した際の早急な現場状況報告により、試験湛水による影響を的確に把握するとともに、効果的な環境保全措置の実施に繋げることができました。また、人工植物を用いた「しばづけ」を考案したことでも、平成22年度以降確認されていなかった希少魚類タナゴモドキを多数確認することができました。

今回の受賞を励みに、なお一層の技術向上と創意工夫に努め、沖縄の社会資本整備、自然環境の保全・創造に尽力したいと考えております。今後ともご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



担当技術者
上原 剛

- 業務名：平成25年度北部国道管内測量設計（その1）業務
- 事務所名：北部国道事務所
- 工期：平成25年6月4日～平成26年3月31日
- 会社名／代表者名：（株）国建／比嘉 盛朋

この度、栄誉ある優秀業務技術者の表彰を受賞させて頂き、誠に光栄なことです。これもひとえに、北部国道事務所調査課の職員の皆様、ならびに、関係者の皆様方からのご指導、ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

本業務は、北部国道事務所管内における道路改築事業に係る詳細設計等を行う業務であり、その内容は、道路設計、一般構造物設計、付帯設計など多岐にわたる設計と、設計検討に必要な調査、測量を迅速、かつ、的確に実施することが求められる業務です。

本業務にあって特に印象深かったことは、宜野座改良2工区における排水修正設計において、排水経路検討にあたっての流末位置の選定や、計画排水路と干渉する複数の埋設管回避対策、また、恩納南バイパスの防風林帯植栽検討においては、地域住民の要望を踏まえた防風対策など、地域特有の問題点を、地域住民を含む関係者協議の場に参加することによって、課題等を的確に捉えて設計検討に反映出来たことがあげられます。

今回の受賞を励みに、なお一層の技術力向上と創意工夫を重ねて、地域の発展に貢献出来るよう職務にあたる所存です。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

優秀業務技術者



管理技術者
具志堅潤

- 業務名：平成24年度北部国道道路許認可審査等業務
- 事務所名：北部国道事務所
- 工期：平成24年4月1日～平成26年3月31日
- 会社名／代表者名：(株)アークスタッフ／久貝 菊次郎

この度は、栄誉ある優秀業務技術者の表彰を受けましたことは、誠に光栄な事であります。これも北部国道事務所、名護維持出張所の職員の方々ならびに関係者の皆様方のご支援、ご指導があつての事と深く感謝申し上げます。

本業務は、道路法に基づく各種申請等の審査・指導等及び道路の不正使用・不法占用の指導取締り並びに道路利用者からの通報・行政相談への対応や災害時等緊急時における情報収集連絡など、複雑で多岐にわたります。このような条件の下、業務を遅滞なく且つ公平に実施するためには、深い知識を持って合理的に推し進める必要がありました。

よって、業務実施にあたっては、適正な人員配置・業務分担がなされているかなど常に注視し、技術的相談や精神的サポートを行うことで業務負担の軽減・平準化を図りました。さらに適正な業務実施を確保するため、調査職員と密に連携（報告・連絡・調整・相談）し情報を共有することで課題や懸案事項への解決策の提案並びに迅速な資料作成等が行えたものと思っております。

今回の受賞を励みに、なお一層の技術力向上と創意工夫に努め、社会資本整備に尽力したいと考えております。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申しあげます。



担当技術者
中島雅人

- 業務名：平成25年度恩納南BP6号橋橋梁詳細設計業務
- 事務所名：北部国道事務所
- 工期：平成25年10月11日～平成26年3月20日
- 会社名／代表者名：
大富建設コンサルタント・橋梁コンサルタント設計共同体
比嘉一郎／竹中啓二

この度は、栄誉ある優秀業務技術者の表彰を受けましたことは、誠に光栄なことです。これは、沖縄総合事務局北部国道事務所の方々ならびに関係者の皆様のご支援、ご指導あつての事と深く感謝申し上げます。

本業務は、恩納南バイパス6号橋の2期線側施工を行うための橋梁詳細設計であります。

業務の課題点は、橋梁架設時には暫定側の通行車両等の走行及び安全性に配慮して、その影響を最小限とすることや、暫定側橋梁との離隔が小さいため、上部工架設時に暫定側橋梁と架設機材である門構の脚が干渉する等の施工的課題をクリアする必要があります。そのため、橋台施工時の仮設土留め工による段階施工を立案し、施工段階毎のSTEP図を作成し、具現性の高い下部工施工計画が立案しました。また、上部工架設については、門構に仮支柱を設け、主桁を横移動させる等の具体的な提案を行い、施工時の細部に配慮した施工計画を立案しました。

維持管理にも着目し、構造細目の検討を行い、維持管理の向上に配慮した設計を提案しました。今回の受賞を励みに、なお一層の技術向上と創意工夫を務め社会資本整備に尽力したいと考えております。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申しあげます。

優秀業務技術者



主任技術者
米 城 才 文

- 業務名：平成25年度中山トンネル外水文観測及び地すべり調査業務
- 事務所名：南部国道事務所
- 工期：平成25年4月13日～平成26年3月31日
- 会社名／代表者名：日本工営株式会社 沖縄事務所／米城才文

この度、栄誉ある優秀業務技術者の表彰を受けましたことは、建設コンサルタント業に携わる技術者として誠に光栄であります。業務遂行にあたり多大な御指導、御支援を頂いた南部国道事務所および那覇空港自動車道出張所の方々、ならびに関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

本業務は、中山トンネル、豊見城トンネルにおいてトンネル掘削による周辺地下水への影響を把握することを目的とした水文観測を実施するとともに、中山改良事業および与那原バイパス事業において地すべり調査・観測を行い施工中に発生する諸課題について検討を行ったものです。

両トンネルにおける水文観測は施工前からなされており、本業務の施工後の観測結果からトンネル掘削による周辺地下水への影響がなかったことを確認できました。

中山改良事業と与那原バイパス事業では、施工中に発生した諸課題に対し地すべり観測・調査および対策工詳細設計を実施しました。特に斜面変状等の緊急対応については、工事工程への影響が最小限となるよう迅速に対応し、円滑な工事の進捗に貢献できました。

今回の受賞を励みに、一層の自己研鑽、技術力向上と創意工夫に努め、沖縄県の社会資本整備に尽力したいと考えております。今後とも御指導、御鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。



管理技術者
竹 原 哲 郎

- 業務名：平成25年度南部国道管内防災点検設計業務
- 事務所名：南部国道事務所
- 工期：平成25年5月24日～平成26年3月31日
- 会社名／代表者名：日本工営株式会社 沖縄事務所／米城才文

この度、栄誉ある優秀業務技術者の表彰を受けましたことは、建設コンサルタント業に携わる技術者として誠に光栄であります。これも南部国道事務所、与那原維持出張所及び嘉手納国道出張所の方々、ならびに関係者の皆様方のご支援、ご指導があつてのことと深く感謝申し上げます。

本業務は、道路防災点検及び防災カルテの更新を行うとともに国道331号の具志堅地区及び佐敷地区において地質調査を実施し岩盤崩落対策及び盛土崩壊対策工詳細設計を行ったものです。

防災点検では作業に先立ち道路管理者にヒアリングを行いより有効性のある点検の実施に努めるとともに、道路パトロール時にも活用できるように点検結果の取りまとめを行いました。岩盤崩落対策では、亀裂の分布状況を把握する目的でクライミング調査及びボアホールカメラ計測を行い、これらの調査結果を対策工法検討及び詳細設計に反映させました。また、対策工の施工計画図を作成し施工順序を提示するとともに、工事に影響する占有物件を現地調査や管理者へのヒアリングにより確認し、対策工施工時に反映できるようにとりまとめました。

今回の受賞を励みに、なお一層の技術力向上と創意工夫に努め、社会資本整備に尽力したいと考えております。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

優秀業務技術者



管理技術者
鈴木 信夫

- 業務名：那覇空港滑走路実施設計業務
- 事務所名：那覇港湾・空港整備事務所
- 工期：平成25年6月26日～平成26年3月31日
- 会社名／代表者名：パシフィックコンサルタント(株)沖縄支社／森 達夫

この度は、栄誉ある優良業務技術者の表彰を受けましたことは、誠に光栄な事であります。これも那覇港湾・空港整備事務所那覇空港新滑走路整備推進室の職員の方々ならびに関係者の皆様方のご支援、ご指導があつての事と深く感謝申し上げます。

本業務は、那覇空港滑走路増設事業に係る護岸N-2工区、N-4工区に使用するケーソンの細部設計及びN工区、AN工区、AS工区、E4-4・E-5工区、仮設桟橋3箇所、仮設橋、水域施設（浚渫）及び中仕切堤2箇所の実施設計を行うとともに、磁気探査の実施設計及び仮設桟橋の構造検討を行ったものです。

ケーソン細部設計は、外周護岸のケーソンであったことから「施工時状態」「揚土時状態」「完成時状態」の各状態について、作用荷重を設定し、配筋計算を実施しました。実施設計では、輻輳する工事に対して施工課題を抽出し、その対応策について検討を行い、安全且つ確実に施工が可能となる施工ロッドを設定し、設計に反映させました。

今回の受賞を励みに、なお一層の技術力向上と創意工夫に努め、社会資本整備に尽力したいと考えております。今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



管理技術者
石田 誠

- 業務名：那覇港(新港ふ頭地区)
防波堤(新港第一)構造検討業務
- 事務所名：那覇港湾・空港整備事務所
- 工期：平成25年7月9日～平成25年10月31日
- 会社名／代表者名：ポートコンサルタント(株)／代表取締役 古川清

この度は、栄誉ある優秀業務技術者の表彰を受賞させて頂きまして、誠に光栄なことであり有難うございます。これは偏に沖縄総合事務局 那覇港湾・空港整備事務所の皆様並びに本業務に携われた全ての関係者の皆様のご指導・ご協力があつての事と深く感謝申し上げます。

本業務は、発生頻度の高い津波に先行する地震による沈下量を考慮して既設防波堤を津波に対して粘り強い構造に嵩上げ改良する基本設計です。防波堤の地震時沈下量を精度良く算定し、さらに2011年東日本大震災での防波堤の被災状況を踏まえて、津波に対して粘り強く経済的な嵩上げ改良構造を設定するために、最新の知見への理解と高度な技術力が求められたものでした。

このため、防波堤の地震時沈下量を精度良く算定する上で重要な珊瑚礁混り土等の特殊土の地盤定数を粒度やN値とVsの相関性の検討等により設定し、二次元非線形地震応答解析FLIPにより沈下量を算定しました。さらに、防波堤の津波に対する粘り強い構造の研究成果等を収集・整理し、津波に対して港内側マウンドの洗掘抑制効果があり経済的な嵩上げ構造を設定しました。

今回の受賞を励みに、より一層の技術力向上と創意工夫に努め、地域に役立つ品質が高く経済的な社会資本整備に尽力したい所存です。今後ともご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願ひ致します。